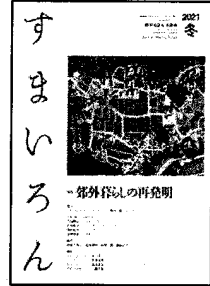


住総研からのお知らせ



○新刊

<すまいろん>
『すまいろん』108号
特集「郊外暮らしの再発明」

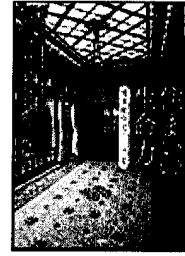


一般財団法人 住総研
定価 1000 円＋税

『すまいろん』109号
特集「コロナと住まい」は8月下旬発行
予定です。

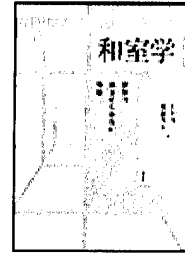
<住まい読本 17>
『住まいの生命力』

住総研清水組『住宅建築図集』
現存住宅調査研究委員会
発行 柏書房
定価 2200 円＋税



<住まい読本 18>
『和室学』

編著者／松村秀一・服部岑生
発行 平凡社
定価 3400 円＋税



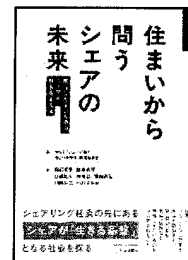
<住まい読本 19>
『おとなのための住まい力』

住総研「おとなのための
住まい学」研究委員会
発行 ドメス出版
定価 2000 円＋税



<住まい読本 20>
『住まいから問うシェアの未来』

住総研「シェアが描く住まいの
未来」研究委員会
発行 学芸出版社
定価 2200 円＋税



書籍のご購入について

■「すまいろん」をご希望の方
当財団へ直接お申込下さい。

mail:info@jusoken.or.jp 迄お問い合わせ下
さい。(バックナンバーについても在庫のあ
る分についてはご購入頂けます。)

■「住まい読本」をご希望の方
全国の書店または各ネット書店にてご購入
頂けます。

お問合せ：一般財団法人 住総研
TEL 03-3275-3078

第56回 住総研シンポジウム 歴史のなかの 「あこがれ」の住まいと暮らし

2021年度 重点テーマ連続シンポジウム
「あこがれの住まいと暮らし」vol.1

2021年7月30日(金) 13:30~17:00
建築会館ホール

主催

一般財団法人 住総研

一般財団法人 住総研について

■沿革

当財団は、故清水康雄（当時清水建設社長）の発起により、昭和23（1948）年に東京都の認可を受け「財団法人 新住宅普及会」として設立されました。昭和63（1988）年には、本格化した研究主体の活動実態に照らし、「財団法人 住宅総合研究財団」と名称変更、平成23（2011）年7月1日「一般財団法人 住総研」として内閣府より認可され、活動を続けています。平成30（2018）年に創立70周年を迎えました。

■事業目的

住総研は、住まいに関する総合的研究・実践並びに人材育成を推進し、その成果を広く社会に還元し、もって住生活の向上に資することを目的に活動をしています。

■事業内容

●助成事業

- ・研究・実践助成：住関連分野の研究者に対し助成。公募
- ・出版助成：住関連分野の出版に対し助成。公募
- ・住教育授業助成：小中高の住教育授業に対し助成。公募

●顕彰事業

- ・住総研 清水康雄賞：優れた研究成果をあげ今後活躍が期待される研究者を表彰
- ・住総研 研究・実践選奨：研究・実践助成を受けた中から優れたものを表彰
- ・住総研 博士論文賞：若手研究者の優秀な博士論文を表彰

●調査・研究事業

- ・2021年度重点テーマ 「あこがれの住まいと暮らし」研究
- ・2022年度重点テーマ 「住宅の省エネ化推進のための情報発信」研究
- ・2023年度重点テーマ 「住まいの造り手の将来像」研究

●シンポジウム・フォーラム

- ・住総研シンポジウム：年度重点テーマに基づきシンポジウム。年2回程度開催
- ・すまいるんシンポジウム：すまいるんのテーマで、年2回程度開催
- ・出版記念フォーラム：住総研住まい読本の出版にあわせて適宜開催

●情報発信・出版

- ・機関誌『すまいるん』：住まいに関する諸情報を提供。年2回発行
- ・『住総研 住まい読本』：住まいをめぐる諸問題について取り組んだ成果、提言などを出版
- ・『住総研 研究論文集・実践研究報告集』：研究助成を受け提出された論文を毎年出版
- ・メルマガ：住まいに関する情報を随時発信。Facebook, Twitterでも発信

●図書室

- ・「住まい」に関連する書籍3万冊蔵書の専門図書室。

住総研重点テーマ

2010年度より、研究・実践活動の効率化と成果の集約化を図るため、各年度に取り組むべき重点テーマを定め、その年度に開催されるシンポジウムをはじめ、研究・実践助成の選定及び諸活動に反映しております。

1) 各年度の重点テーマ

2019年度：おとなのための住まい学

2020年度：シェアが描く住まいの未来

2021年度：あこがれの住まいと暮らし

2022年度：住宅の省エネ化推進のための情報発信

2023年度：住まいの造り手の将来像

2) 今年度の住総研シンポジウム 重点テーマ「あこがれの住まいと暮らし」

「あこがれの住まいと暮らし」研究委員会 委員五十音順

委員長 後藤 治（工学院大学 教授）

委員 島原 万丈（株式会社 LIFULL LIFULL HOME' S 総研 所長）

豊田 啓介（noiz architects パートナー）

藤田 盟児（奈良女子大学 教授）

伏見 唯（株式会社伏見編集室 代表取締役）

山本 理奈（成城大学 准教授）

今年度の連続シンポジウム（全2回）

第56回住総研シンポジウム 2021年7月30日（金）建築会館ホール

「歴史のなかの「あこがれ」の住まいと暮らし」

第57回住総研シンポジウム 2021年11月24日（水）建築会館ホール

「現代日本の住まいと暮らし—あこがれと現実のはざま—」

歴史のなかの「あこがれ」の住まいと暮らし

主題解説

後藤治

(工学院大学 教授 / 「あこがれの住まいと暮らし」研究委員会委員長)

「あこがれ」から「流行」へ。さらに次の段階へ……。今回は歴史を含めて見た過去と現在のさまざまな「あこがれ」の住まいと暮らしを抽出し、その「流行」や「様式(スタイル)」形成のメカニズムにも触れながら、将来の住まいや暮らしの在り方にどう生かせるのかを議論したい。

第一部では、「和室」が、祖型が中世(室町時代)に出来上がり、様々な流行の結果、住宅の部屋として、各地に多数普及した普及過程を例に、「住まい」における「あこがれ」の形成と「流行」を考察する。次に海外の「あこがれ」の具体化の類例として、インド・ムンバイのアールデコ様式の事例を紹介する。

第2部では、現代の「あこがれ」の住まい像を、高度成長期からの意識の変化や国際比較アンケート等によって確認し、直近の日本人の「住まい」の具体像が希薄になっていることやその要因、日本における現代の住まいと暮らしの特徴を考える。

パネルディスカッションでは、「住まい」像が希薄化していることを前提に、今後の「あこがれ」の住まいや暮らしの形はどうなるのかを議論したい。

「歴史のなかの「あこがれ」の住まいと暮らし」

プログラム

13:30 開会

開会挨拶 道江紳一 (一般財団法人 住総研 専務理事)

趣旨説明 後藤 治 (工学院大学 教授)

13:50 第1部 講演

「あこがれと和室」

藤田盟児 (奈良女子大学 教授)

「インド・ムンバイにおけるアールデコ様式住居へのあこがれ」

後藤克史 (明治大学 客員研究員)

14:40 休憩

14:45 第2部 講演

「高度成長期の住まいと暮らしから「あこがれ」を考える」

山本理奈 (成城大学 准教授)

「日本とデンマークの比較でみる「幸福な暮らし像」

島原万丈 (LIFULL HOME'S 総研 所長)

「外国人から見た“和”の住まい」

鈴木あるの (京都橘大学 教授)

15:45 休憩

15:55 第3部 討論

司会

後藤 治 (前掲)

パネリスト

後藤克史 (前掲)

島原万丈 (前掲)

鈴木あるの (前掲)

藤田盟児 (前掲)

山本理奈 (前掲)

17:00 閉会

プロフィール

(講演順)

〈趣旨説明〉

後藤 治

工学院大学理事長・教授

1960年東京都生まれ。1988年東京大学大学院博士後期課程中退後、文化庁文化財保護部建造物課を経て、2017年より現職。専門は、日本建築史及び歴史的建造物の保存修復。主な著書に、『建築学の基礎⑥日本建築史』『論より実践 建築修復学』（単著、共立出版）、『都市の記憶を失う前に』『伝統を今のかたちに』（共著、白揚社）他。2019年住総研清水康雄賞。

〈講演〉

藤田盟児

奈良女子大学 教授

1960年愛媛県生まれ。1991年東京大学大学院博士課程修了。奈良国立文化財研究所入所後、広島国際大学教授等を経て2016年より現職。専門は、日本建築史、建築意匠。現在、文化庁文化審議会第2専門調査会委員、奈良県、兵庫県、山口県文化財審議委員等を兼務。主な著書に『和室学』（平凡社）『日本建築様式史』（美術出版）『都市のあこがれ』（鹿島出版会）他。また呉市御手洗田金子家住宅(茶室)他の指定文化財の調査修理工事の監修など。

後藤克史

明治大学 客員研究員

1979年生まれ。2003年明治大学理工学部建築学科卒業。卒業後インド西部のカラン・グローバー&アソシエイツに勤務。2013年ロンドン AA スクール大学院修了。2017年～2021年3月明治大学国際連携機構特任講師。現在は同大学客員研究員。東京とインド・ムンバイ在住でインドで2016年10月から Squareworks LLP を主宰。建築設計をしながら、Domesticity と公共空間の研究を行う。

山本理奈

成城大学 准教授

成城大学社会イノベーション学部准教授。博士（東京大学・学術）。専門分野は社会学、現代社会論。少子高齢化に対応した都市の居住福祉、都市・住宅政策の国際比較、住宅の広告表現や商品化に関する研究などに取り組む。主な著書・論文に、『マイホーム神話の生成と臨界——住宅社会学の試み』（都市住宅学会賞）、「都市居住のイメージと住宅広告の役割に関する比較社会学的研究」（『住総研 研究論文集』40号）など。

島原万丈

LIFULL HOME'S 総研 所長

1989年株式会社リクルート入社。2005年よりリクルート住宅総研へ移り、2013年3月リクルートを退社。同年7月、株式会社 LIFULL（旧株式会社ネクスト）に設置された社内シンクタンク LIFULL HOME'S 総研所長に就任。独自の調査研究レポートを元に、ユーザー目線での住宅市場の調査研究と提言活動に従事。一般社団法人リノベーション協議会設立発起人ほか、国土交通省や地方自治体の各種委員を歴任。主な著書に『本当に住んで幸せな街 全国官能都市ランキング』（光文社新書）がある。

鈴木あるの

京都橋大学 教授

京都大学農学部卒、カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン大学院修士課程修了、京都工芸繊維大学博士。カリフォルニア大学デービス校講師、大阪産業大学非常勤講師、京都大学理学研究科留学生担当講師等を経て、2021年より現職。日本民俗建築学会理事。主たる研究テーマは、居住空間の異文化理解。

第56回住総研シンポジウム
2021年度重点テーマ「あこがれの住まいと暮らし」
連続シンポジウム第1回

歴史のなかの 「あこがれ」の住まいと暮らし

趣旨説明

研究委員会・委員長
後藤 治
工学院大学教授

研究テーマの理由

近年、建築に手間と費用をかけることが減少しているのではないかと

それは特に住宅において顕著なのでは？

⇔ 歴史を辿ると
文化財民家調査
＝お助け普請、普請道楽

研究テーマ／住総研・研究募集：重点テーマ

建築に手間と費用をかける動機
＝ Keyword：「あこがれ」

「あこがれの住まいと暮らし」研究委員会
委員長 後藤治（工学院大学）
委員 藤田盟児（奈良女子大学）
山本理奈（成城大学）
島原万丈（LIFULL HOME'S 総研）
伏見唯（伏見編集室）
豊田啓介（noiz architects）

考 察（委員会開始前）

直近の「あこがれ」の住まい＝タワマン
→ 「暮らし」像は？／Security, 隔絶

ひと昔前の「あこがれ」の住まいは？
「庭付き一戸建て」
→ 現在： 戸建て VS マンション

◆研究の視点
歴史のなかで「あこがれ」を探る
ひと昔前と現在を比較する
諸外国と日本を比較する

本日のシンポジウム

- ◆歴史のなかで「あこがれ」を探る
藤 田 / 日本：和室
後 藤 / インド：アール・デコ様式
+ 諸外国と日本を比較する
→ 「あこがれ」の形成過程
- ◆ひと昔前と現在を比較する
山 本 / 高度成長期からの変容
- ◆諸外国と日本を比較する
島 原 / デンマークと日本
鈴 木 / 外国人からみた日本
→ 現代日本の「住まい・暮らし」像

シンポジウムで考えたいこと（次回も含む）

- ◆「あこがれ」の形成過程・影響力
- ◆現代日本の「住まい・暮らし」像の課題
→
建築に手間や費用をかけることにつながる、「あこがれ」の「住まい・暮らし」像は、現代（将来）成立し得るのか？
+ アフターコロナの社会との関係は？
+ 建築の性能（耐震・温熱環境等）は、「あこがれ」となり得るのか？
+ 建築家の提案や作品は、「あこがれ」となり得るのか？

スタイル —シャネルの創造—



エドワード朝(1900-10)の服装



ジャージー・ドレス(1916-)



シャネル・スーツ(1923-)

あこがれと和室

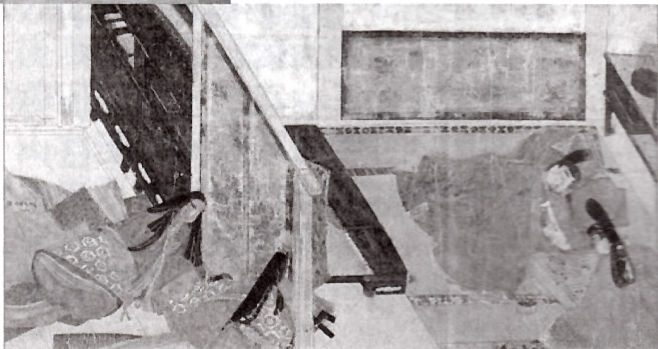
—座敷・書院造・建築様式—



敵島神社・拝殿

寝殿造

畳と障子



『源氏物語絵巻』

鎌倉武家住宅の接客空間



写真6、安達泰盛邸(『鎌倉絵巻』より)

『名語記』(1268完成)

テ井
問 家ノ客殿ヲテ中何
答 テキハ出居ナリ

鎌倉の武家社会では、デイ=客室。
このデイが、座敷になる。

座敷の誕生 —鎌倉の武家住宅の研究から—

- ・「六波羅殿御家訓」(1240年頃、全43条)
- ・「極楽寺殿御消息」(1260年頃、全99条)
- ・ 8条:酒宴の座席にては、……
- ・ 29条:ザシキの汚きところ、……、酒宴の座席の事は沙汰の外なり。
- ・ 31条:人のあらん所にて睡はきたからん折は、口を塞ぎ、座席を背て、たとう紙にはき入べし。
- ・ 32条:……、座席にて躰を繕い、若はきそくづく事あるべからず。……
- ・ 35条:遊宴の座席にて……
- ・ 38条:いかに入れ乱れたる座席にても、われ前ならで人の前なる酒・肴・菓子躰物とりて食うべからず。
- ・ 9条:長押の面に竹釘打つべからず。畳のへり踏むべからず。さへの上に立たず。ゆるりの縁、越ゆべからず。万人にも、世にも憚るべし。
- ・ 10条:お酌を取りては三足よりて、膝を突きまうして、三足退きて、躰をつきて畏まるべし。せばき座敷、また女房の御前などにては心得べし。
- ・ 81条:酒の座敷にては、はるかか末座までも、つねに目をかけ、言葉をかけ給うべし。……

藤田盟児「鎌倉前半期における上層武家住宅の実態と変遷過程」『建築史学』第53号、2009年9月

連署・北条政村が弘長3年(1263)2月に常盤別邸で開催した千首和歌会のこと

- 2月8日
懸物を飾った座敷に数十人が集まり、千首をつくる。1人が数十首ずつ。
- 2月9日
將軍家指南役の葉室光俊が合点する。
- 2月10日
結果を公表する。「合点の員数によって座次第を定める」と事前に決めていたが、3番の政村が、2番になったが身分の低い押垂範元の席を、自分の対座としようとしたところ、葉室光俊が「非一行座」は無念と述べる。
政村は席を立て、範元の「座下」に坐ろうとした。怖じ気づいた範元が逐電する。政村は部下を使わして範元を連れ戻し、上座に座らせて、賭物を取らせた。
無点の者は、縁側に座らされ、箸を使わずに食事をして、満座が大笑いする。

座敷は、既成秩序を壊し、新たな社会を形成しようとする雰囲気空間。

和室の性質

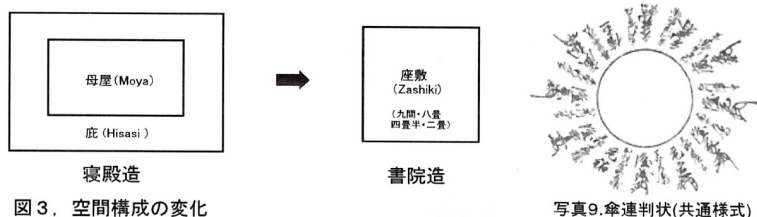


図3、空間構成の変化



栗林公園の栢月亭

会所の誕生

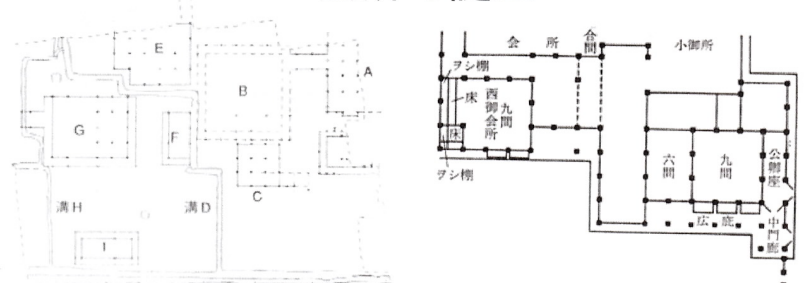
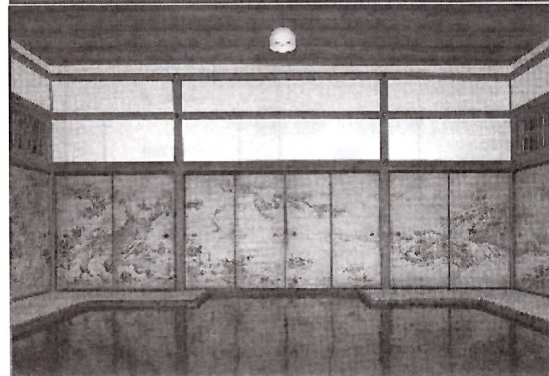


図4 鎌倉・今小路西遺跡,1300年前後

図5、1400年ころの醍醐寺の法身院



写真10 吉水神社書院、義経潜居の間、南北朝期 写真11 『祭礼草子』七夕法楽の図、15世紀中頃



座敷の理想
大徳寺・聚光院
狩野永徳が描いた世界

室中之間「花鳥図」狩野永徳

書院造という様式

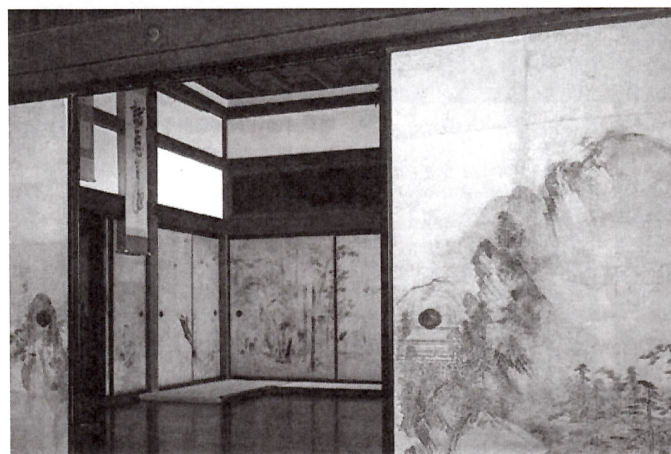


写真7. 大徳寺真珠庵、1491年創建、1638年再建 四季の絵と庭

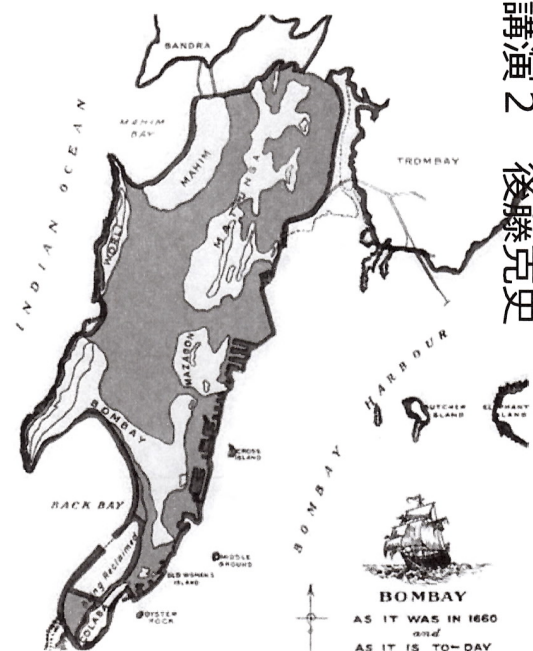
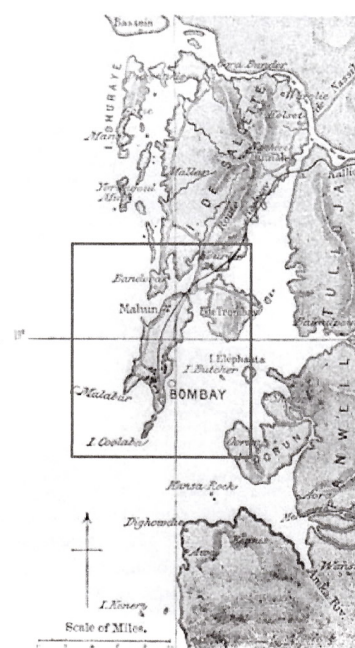
様式の3位相

- ①形式要素
畳床
引違戸と角柱
吊り天井
- ②形式関係
正方形
雁行形
- ③品質
平等性
個々の独立性

「インド・ムンバイにおけるアールデコ様式住居へのあこがれ」

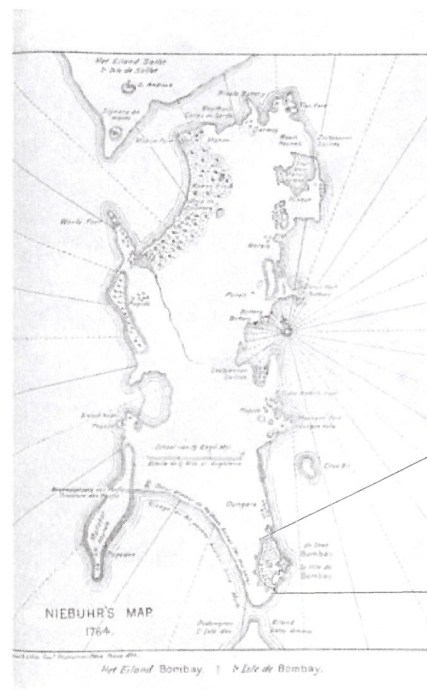
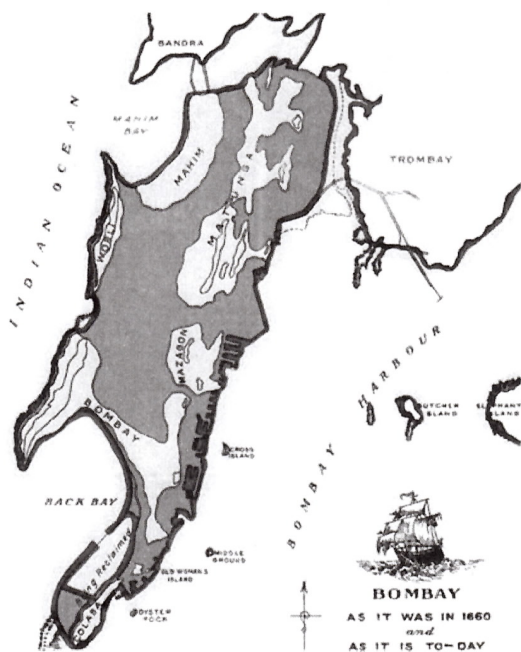
2021 / 07 / 30

後藤克史：明治大学研究・知財戦略機構客員研究員
Squareworks LLP, Mumbai 主宰
Vishwa Shroff：現代美術家



講演2 後藤克史

- 1498 : Vasco da Gamaの上陸 (Calicut)
- 1533 : ポンベイアイランド、ポルトガルの領地へ
- 1661 : ポルトガルから大英帝国へ譲渡 (Charles II of EnglandとCatherine of Braganza King John IVの娘の婚姻に際して)
- 1687 : 東インド会社 (The English East India Company) をスーラトからボンベイへ移動
- 1861-1865 : 南北戦争に伴い、世界の綿花貿易の中心に
- 1869 : スエズ運河開通
- 1896 : 鼠蹊線ベストの流行

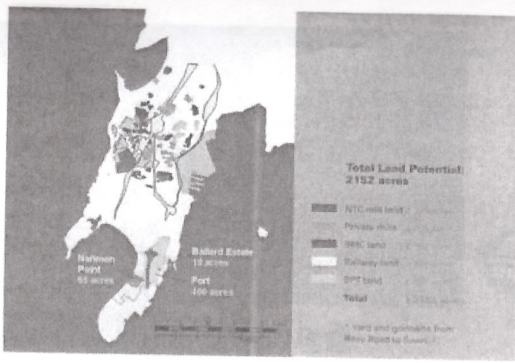


1687: 東インド会社 (The English East India Company) をスーラトからボンベイへ移動

1861-1865: 南北戦争に伴い、世界の綿花貿易の中心に

1869: スエズ運河開通

1896: 鼠蹊線ベストの流行



1861-1865: 南北戦争に伴い、世界の綿花貿易の中心に

1869: スエズ運河開通

1896: 鼠蹊線ベスト (エビデミック)



Bombay Improvement Trust (1898)

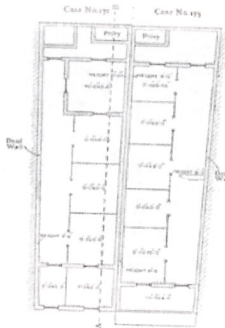
6つのScheme (計画)

1. Improvement Scheme
2. Street Scheme
3. Reclamation Scheme
4. Police Accommodation Scheme
5. General
6. Acquisition of Land Scheme

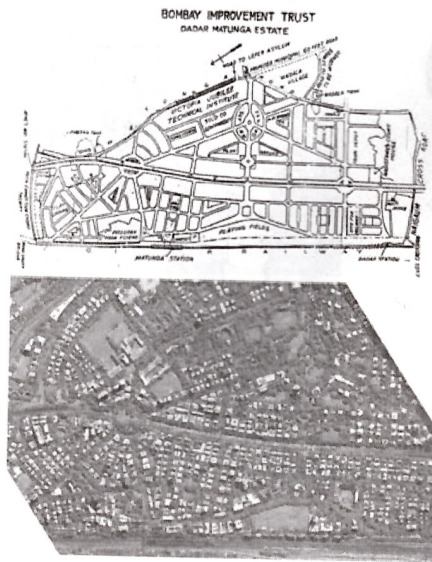
Improvement Schemeにおいて、高密度な労働者居住区の解体と新たな居住区の建設が可能になった。

Bombay Development Department (1920)

Bombay Improvement Trustに続いて、Bombay Development Department が50,000戸の建設を目標に設置された。



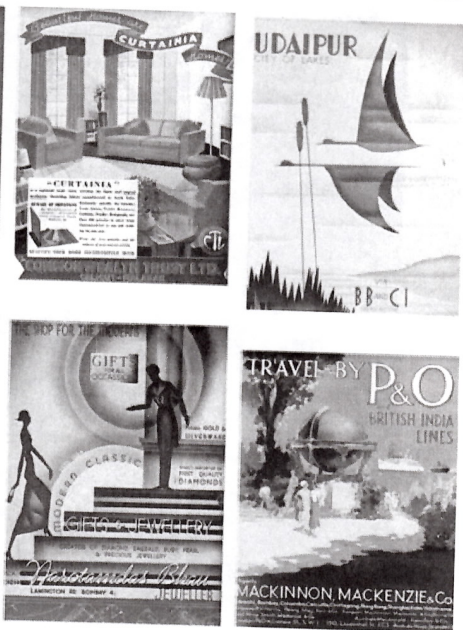
1. Improvement Scheme
2. Street Scheme
3. Reclamation Scheme
4. Police Accommodation Scheme
5. General
6. Acquisition of Land Scheme

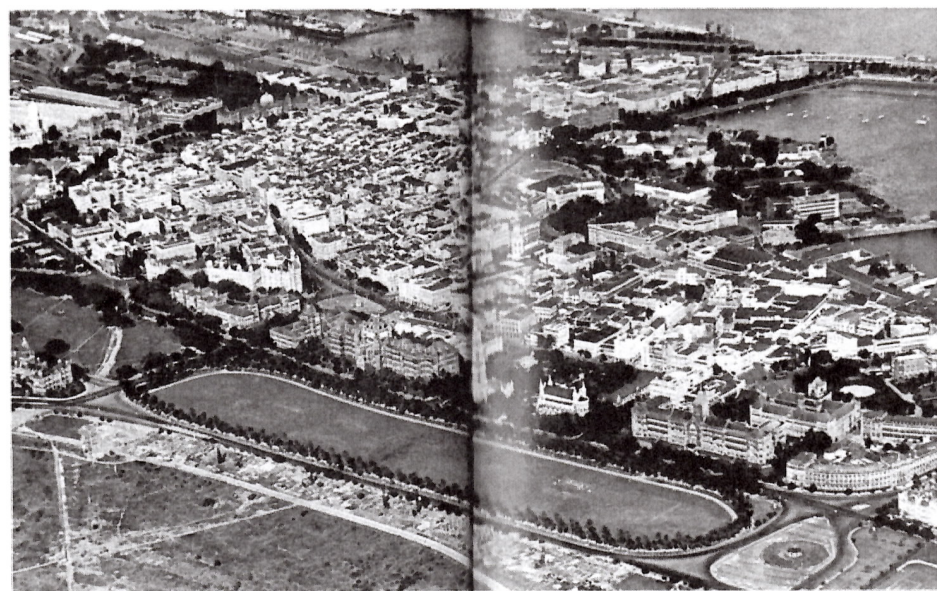


Bombay Improvement Trustの設置

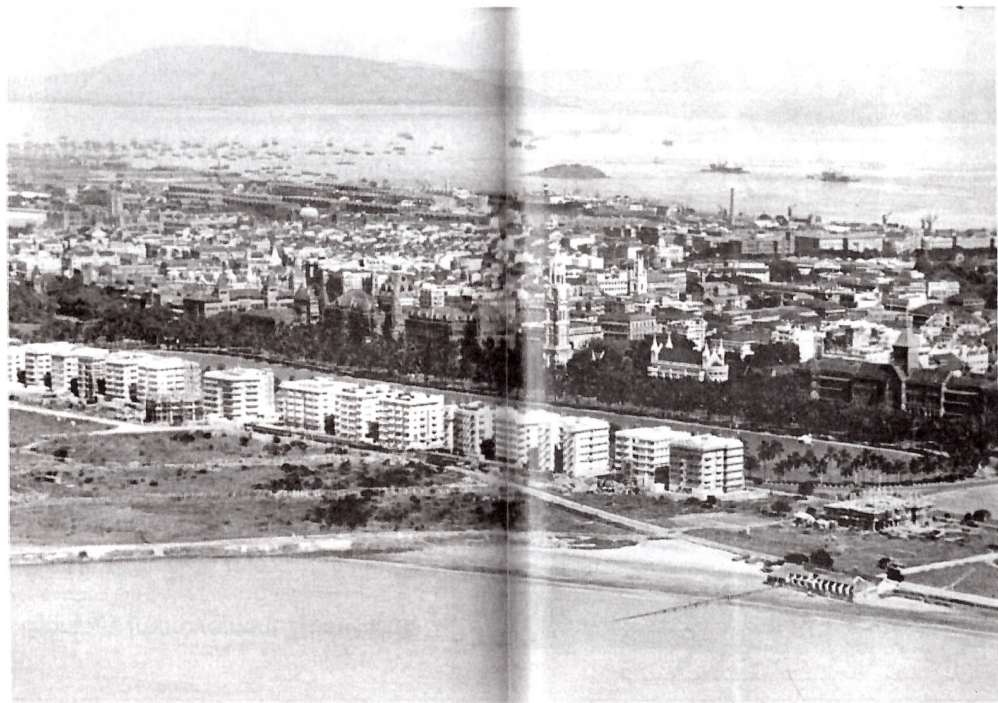
6つのScheme (計画)

1. Improvement Scheme
2. Street Scheme
3. Reclamation Scheme
4. Police Accommodation Scheme
5. General
6. Acquisition of Land Scheme

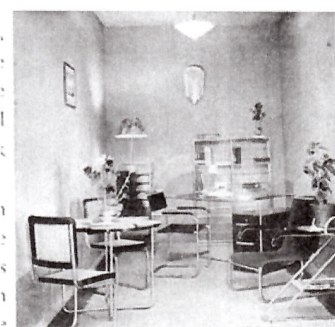
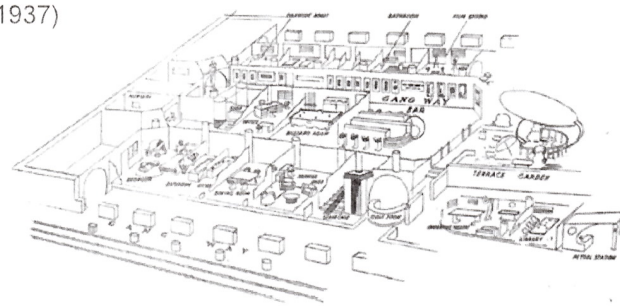




91



The Ideal Home Exhibition (1937)



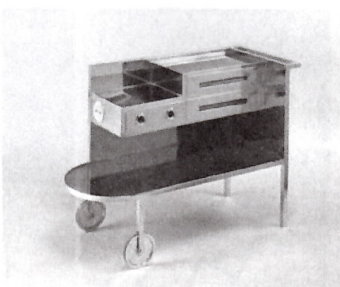
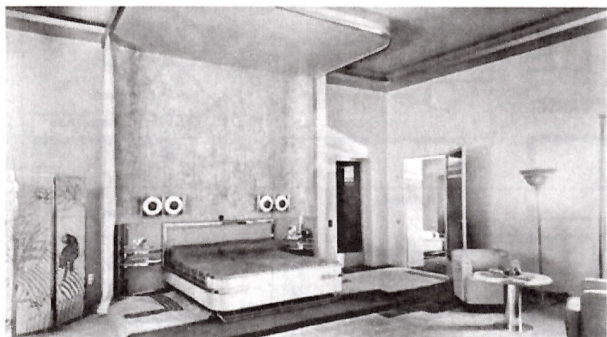
17

AD ARCHITECTURE & DESIGN DECORATING LIFESTYLE CELEBRITY AD DESIGN SHOW DESIGN DIVAS SEAS

Musée des Arts Décoratifs, Paris celebrates the fascinating life of Maharaja Yeshwantrao Holkar II

The young prince of Indore in the 1930s, Yeshwantrao Holkar II and his modernist palace, Manik Bagh, embodied everything that was European and avant-garde. As a major exhibition about him opens at the Musée des Arts Décoratifs in Paris this month, his son, Richard Holkar, looks back at his father's friendships and trust with the modern movement

Facebook Twitter Instagram Email Richard Holkar PUBLISHED SEP 14, 2019 06:00 IST



MODERN IDEAL HOMES FOR INDIA

160 Storied Cottages

Plinth Area 1383 sq. feet. Plan No. 17. Cost Rs. 4500.

BY

R. S. DESHPANDE, B. E., A. M. I. E. (IND). ENGINEER, BOMBAY P. W. D.

Author of (1) Sulabha-Vastu-Shastra or How to Build Modern Homes. (2) Residential Buildings Suited to India. (3) Cheap and Healthy Homes for the Middle Classes. (4) Disposal of Domestic Sewage and other Refuse etc. etc.

Member of the National Planning Committee (Housing Sub-Committee)



FIRST PUBLISHED IN 1937 BY WAB SALAH JUNG RAHADUR Oct. 1939

The design is replete with several useful features and possesses a charm in simplicity that is at once inspiring. There is a small verandah in front, just to serve as a waiting place before a visitor who announces his arrival is admitted into the drawing room. For Indian social customs a door from the verandah opening into the drawing room would be necessary but as I wanted to retain the original elevation to show its grace no changes were allowed. The drawing hall which is sufficiently large for a small cottage like this is further increased in size by combining the dining room with it by a cloth curtain. Thus both the drawing and dining hall would function to the maximum extent. There are three bed rooms—two on the ground floor and a large one on the upper floor. Both the bed rooms are provided with clothes closets. The rectangles with diagonals crossing each other shown in bed rooms are the closets. The bath room is spacious enough and is very conveniently situated. The stair case is occupying an ideal position accessible from any room to go either to the upper bed room or terrace. The kitchen is occupying the most suitable position viz. N.E. corner. There is a small verandah through which an exit is provided on the back side. The w.c. is just outside, but adjoining the house. There is a smoke outlet provided which serves also as a fire place and chimney. The design as it is would be very suitable on a hill station in this country. If it is to be adopted on the plains, the chulla range with its smoke outlet may be installed in the N.E. corner of the kitchen. Thus in a space of 51ft. x 33ft. all the elements of comfort and convenience for a family of 6 or 7 members are provided. There are no curves and no projecting balconies. The plan is a simple square with square corners and still the elevation is so attractive.

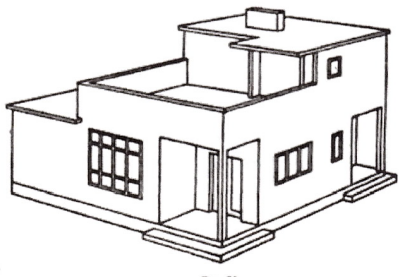
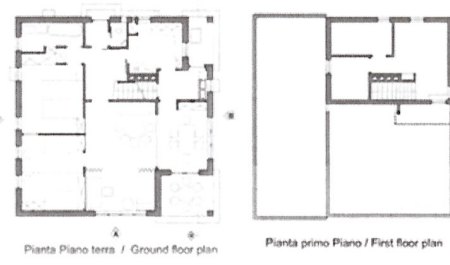
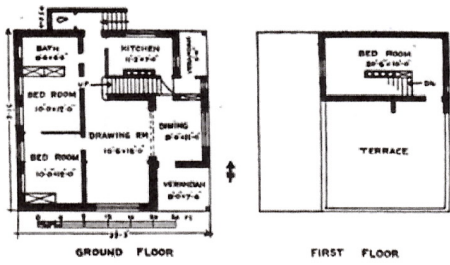
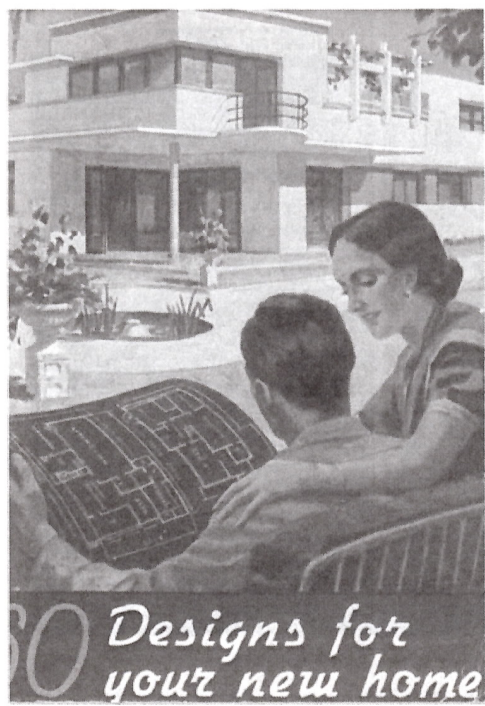
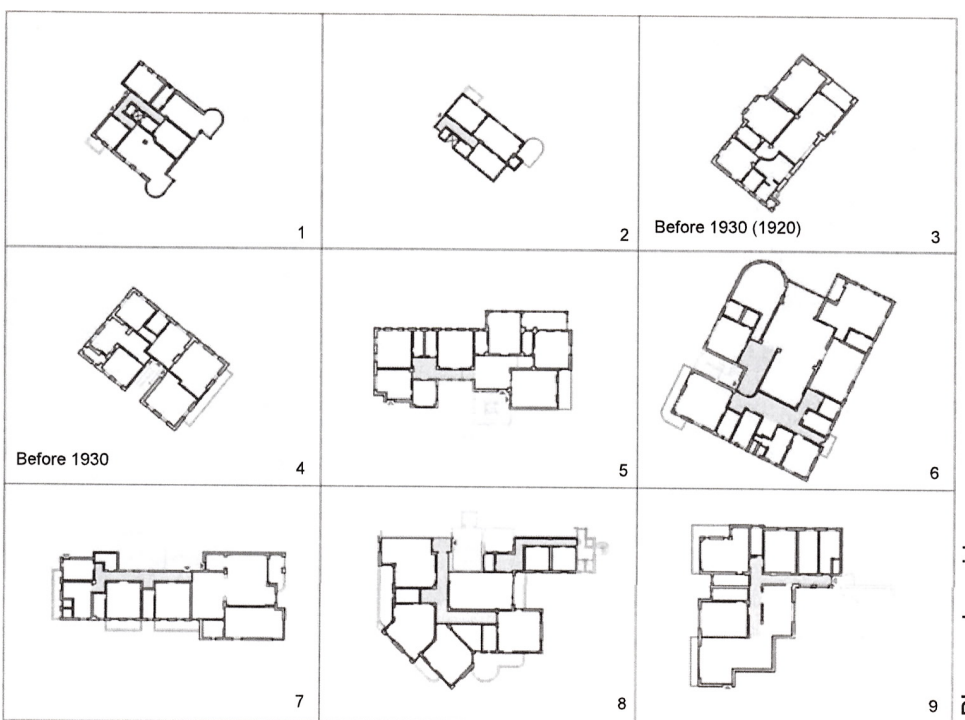
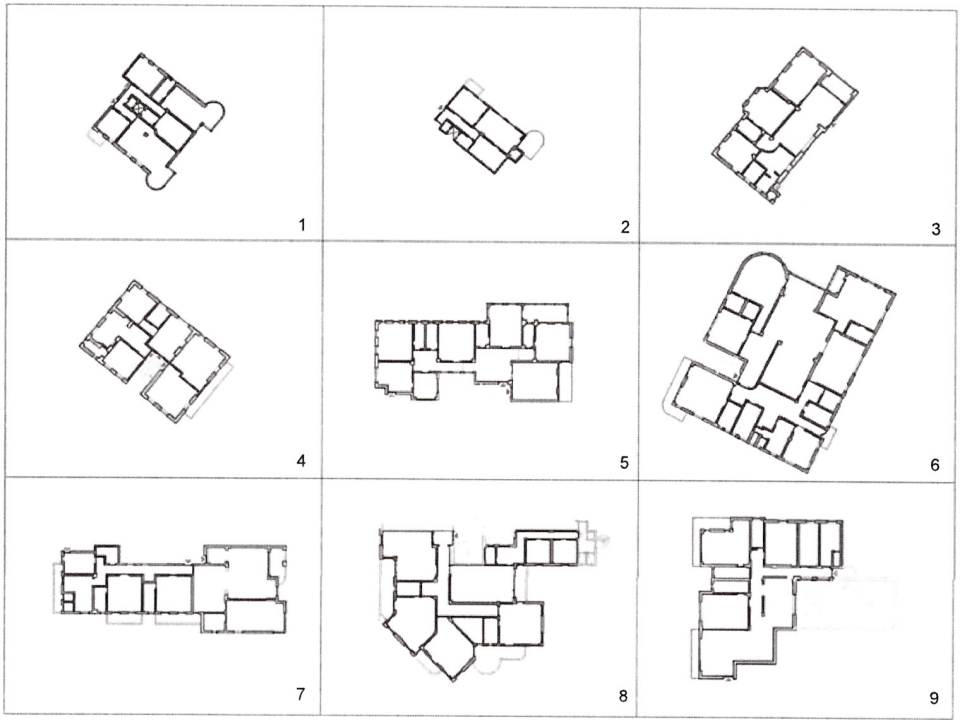
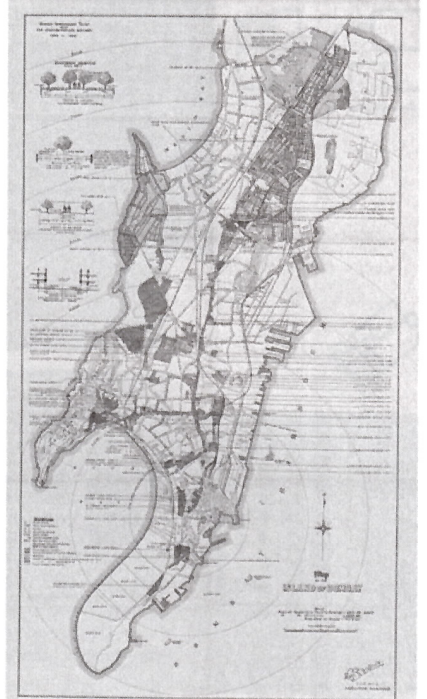
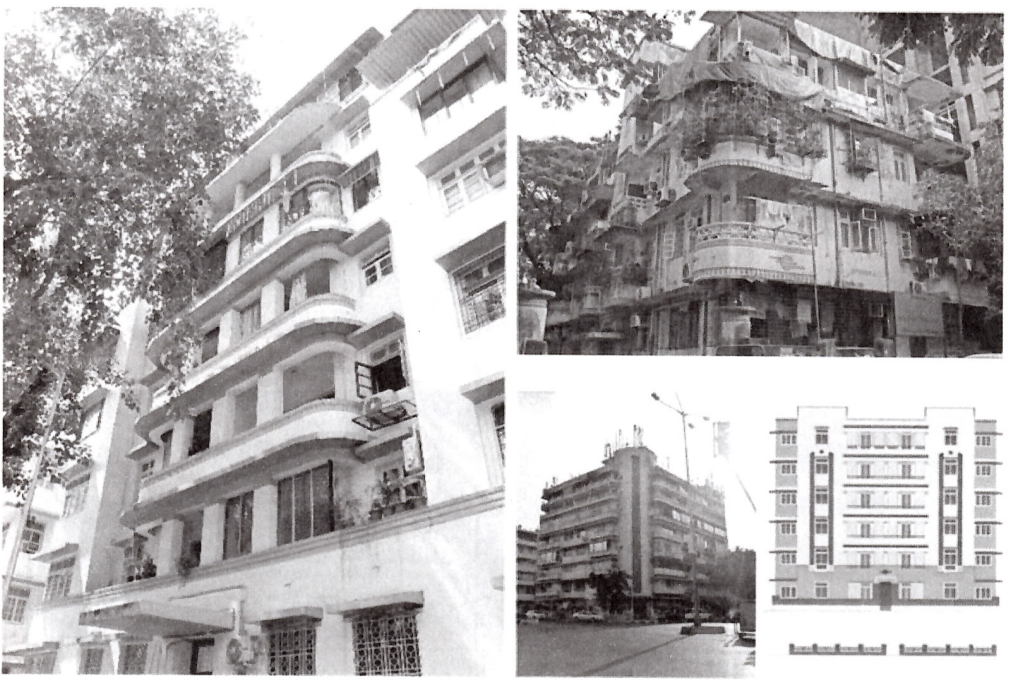
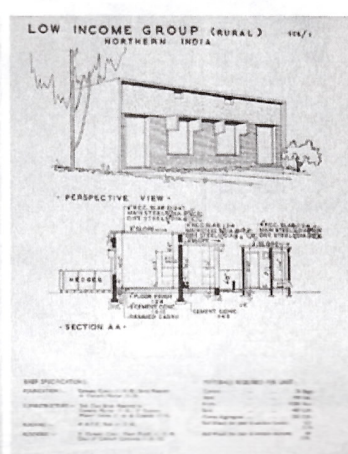
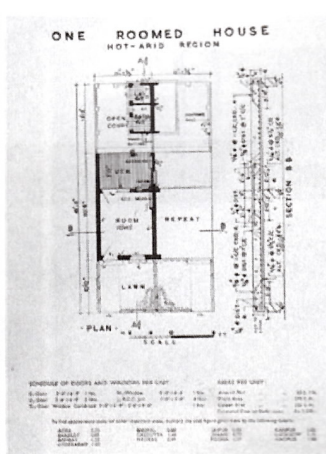
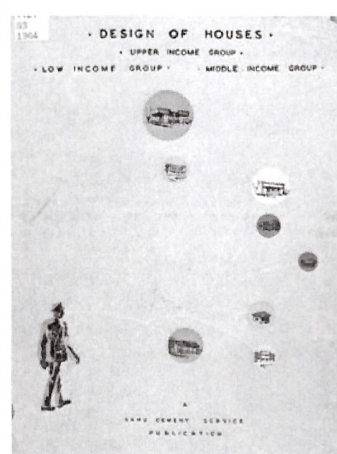
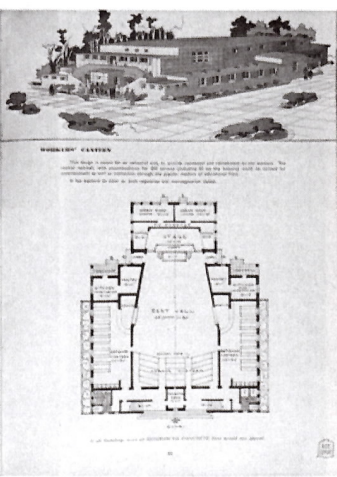
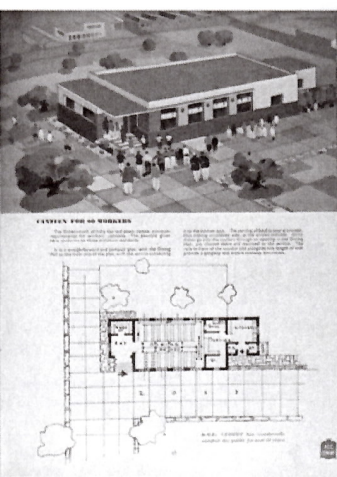


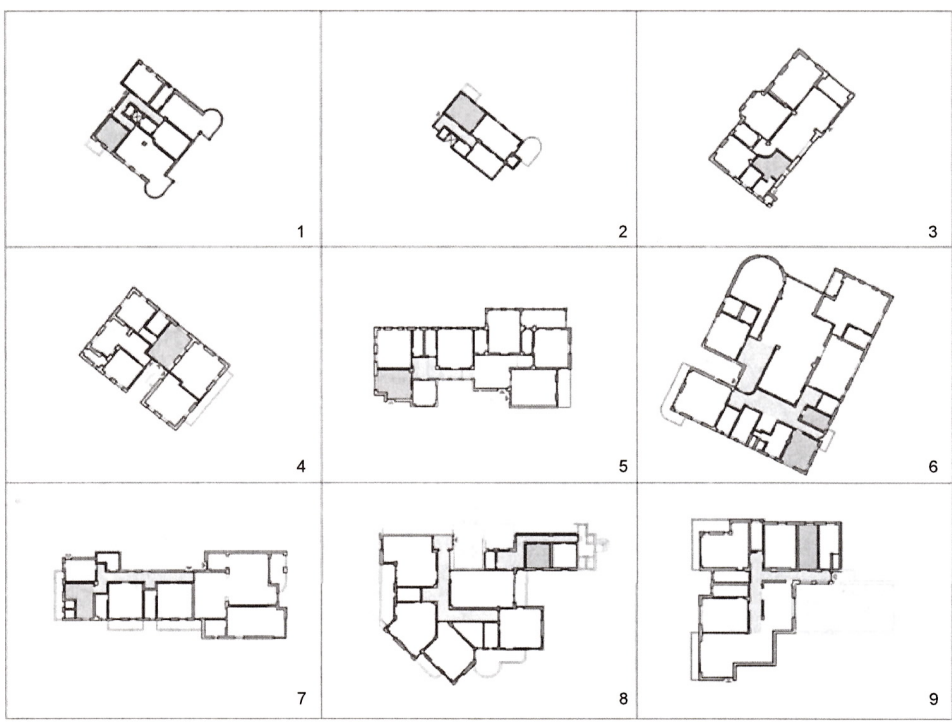
Fig. 52
Architect: BRUNO TAUT, GERMANY.



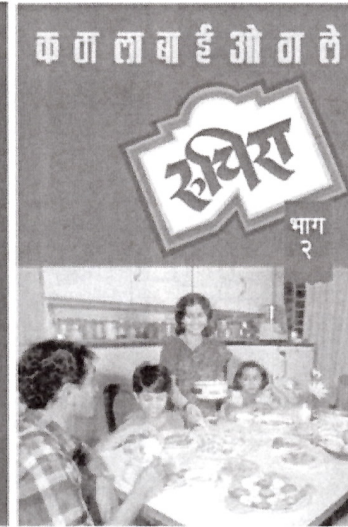
30 Designs for your new home



Plan and corridor



Location of Kitchen



ORIGINAL "EFAR" 608
 High-Power Incandescent Kerosene Lamps, Blow-Lamps, Stoves and their spare parts including Burners, Mantles, Pins, Nipples, etc., are obtainable at moderate prices from:
 The Original Distributors and Agents—
F. RACEK & CO.,
 Post Box No. 2006, Bombay.
 Vithal Shiksha Building,
 Lehar Street, Bombay 2.
 Phone: 20255.
 No. 180
 Made by experts of 25 years' experience in Incandescent Lighting.

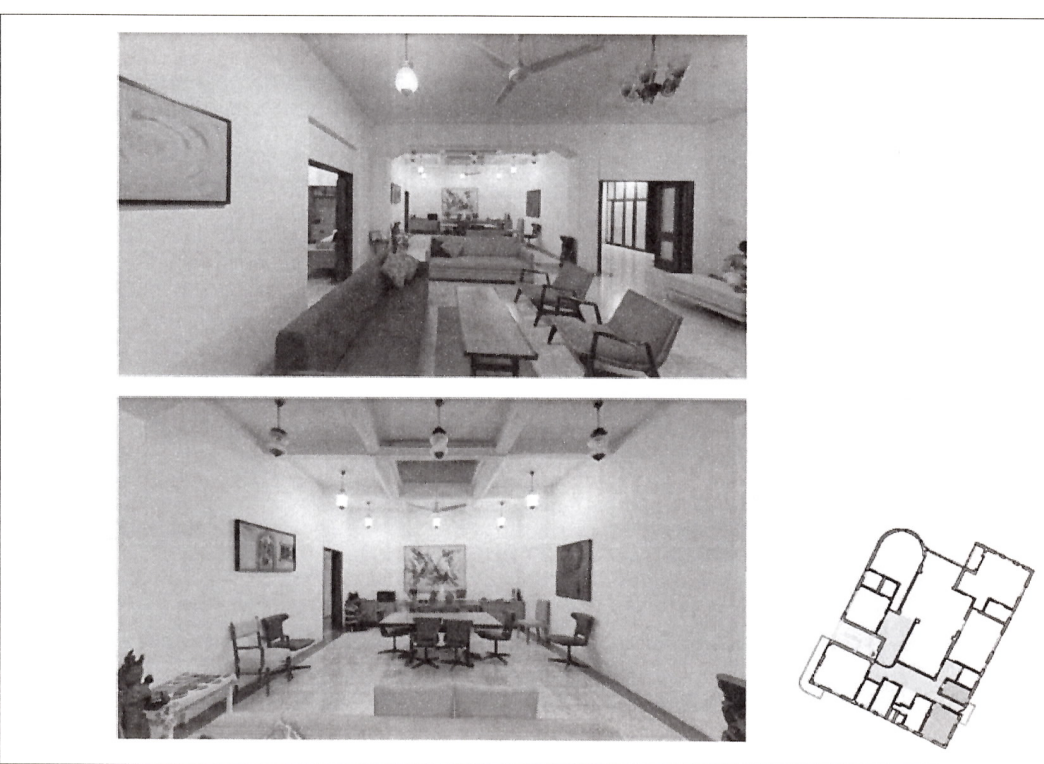
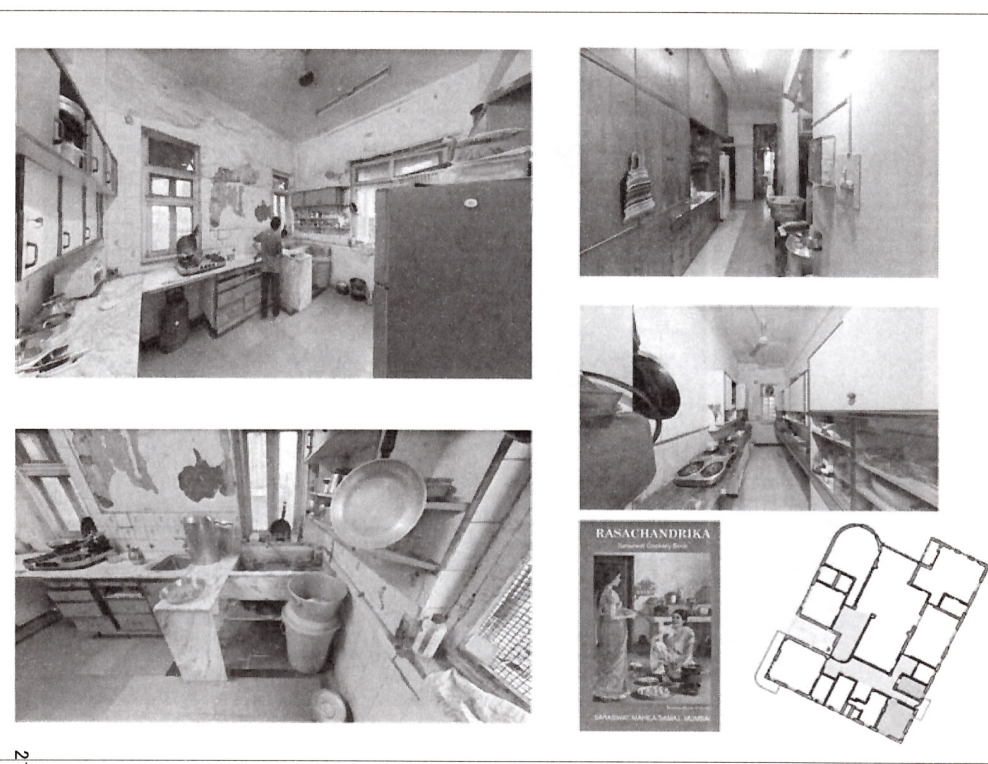
Introducing the great little Godrej
 It's new! It's 165 litres of superb Godrej design and efficiency. It's backed by the famous Godrej service. And it costs only Rs. 2,181.00

I always prefer to COOK WITH GAS because

RK
PURE MUSTARD OIL

SHRI RAM KAMAL INDUSTRIES
 HARIPOD ROAD, KANCHI BARRI

BOMBAY GAS CO. LTD.

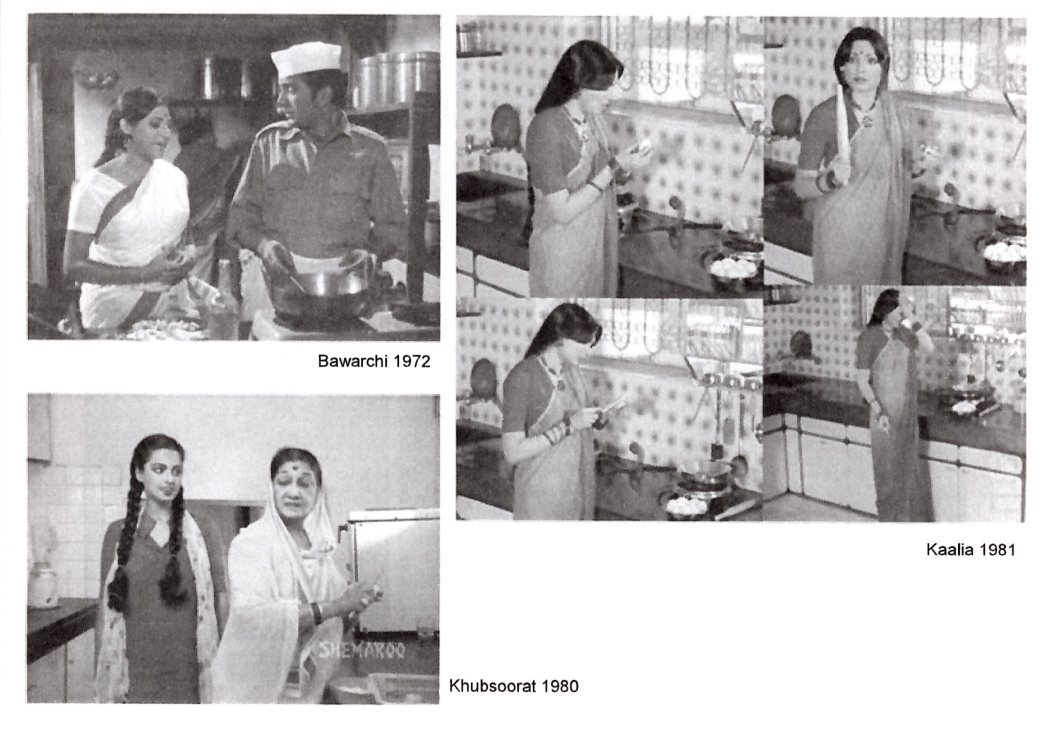


THE MODERN BATHROOM

Visit our New Showrooms displaying "Dulhan" fittings. There you can see the actual fixtures and be able to examine yourself of the high quality, durability and uniform excellence of the products made by Dulhan.

Sanitary and Drainage works, etc., of every description undertaken and estimates given without obligation.

RICHARDSON & CRUDDAS
 Surveyors & Estate Agents,
 Byculla, BOMBAY.



4

住居研シンポジウム（2021年7月30日）
歴史のなかの「あこがれ」の住まいと暮らし

高度経済成長期の住まいと暮らしから 「あこがれ」を考える

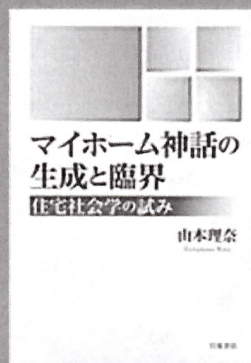
山本 理奈

社会イノベーション学部
心理社会学科



5

主著の紹介



2013年3月 東京大学
博士学位論文
2014年2月 岩波書店
刊行
2015年6月 都市住宅学会
学会賞・著作賞

社会学と建築学に
共通する議論の場を
設定する試み

22

6

目次

1. 都市の集住性／時間の堆積性
2. 住まいの社会的価値
3. 「あこがれ」を考える

7

1. 都市の集住性／時間の堆積性

8

「あこがれ」の住まいと暮らし
を考えるために、
必要な論点とはなにか？

9

都市の集住性

時間の堆積性

23

二つの論点

集住性：共時的な共有

いま、どのように
居住地域を
共有するのか？

日常景観の
維持

堆積性：通時的な共有

過去から将来にむけて、
どのように
住まいを共有するのか？

建物の住継ぎ

事例としての阿佐ヶ谷住宅



撮影) 大月敏雄
出典) 日本建築学会ホームページ

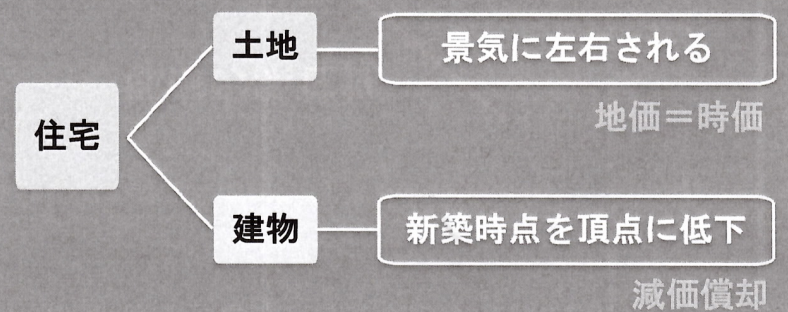
2. 住まいの社会的価値

「住まいの価値」とはなにか？

人びとの居住の営みの
結果として生み出される価値

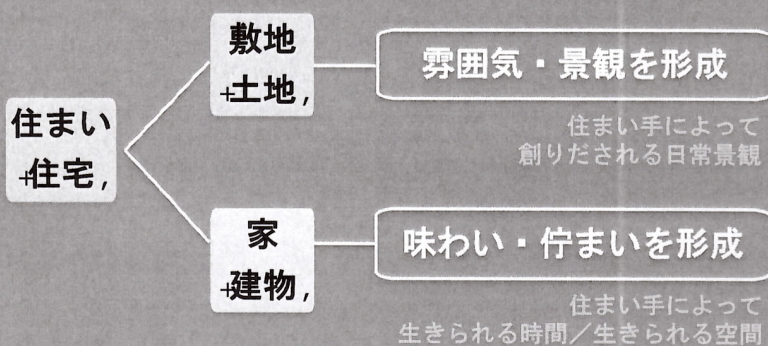
住まいの社会的価値

市場の取引における住宅



住まいの社会的価値

居住の営みにおける住まい・住宅



日常景観

● 「人工的につくられたはずの都市にも人の営みのなかでつくりあげられる雰囲気というものがある、いわば人工のなかにも自然」がある。

● 「最初は人工的につくられたとしても、そのあとの人の流れとか古び方とか修復の仕方によって立ち現れてきた何か非人工的な部分、歴史的な部分、社会的な部分があるのではないか」

(松原隆一郎『〈景観〉を再考する』青弓社、2004年、71-72頁。)

生きられる家

どんなに古く醜い家でも、人が住むかぎりには不思議な鼓動を失わないものである。変化しながら安定している、しかし、決して静止することのないあの自動修復回路のようなシステムである。磨滅したか風化してぼろぼろになった敷居や柱も、傷だらけの壁や天井のしみも、動いているそのシステムのなかでは時間のかたちに見えてくる。住むことが日々すべてを現在のなかにならべかえるからである。家はただの構築物ではなく、生きられる空間であり、生きられる時間である。

(多木浩二『生きられた家—経験と象徴』岩波書店2001年、3頁)。

3. 「あこがれ」を考える

都市のリズム

人のリズム

変わりゆくまち並みのなかで、
変わらないものとは？

26

みどりの深さ



“成城らしいみどりのしつらえ”

出典)『成城みどりのスタイルブック』(成城自治会・世田谷トラストまちづくり)、2017年、1頁。

並木道



出典)『成城みどりのスタイルブック』(成城自治会・世田谷トラストまちづくり)、2017年、表紙、8-9頁。

大きな樹木



出典)『成城みどりのスタイルブック』(成城自治会・世田谷トラストまちづくり)、2017年、表紙、9頁。

生け垣



出典)『成城みどりのスタイルブック』(成城自治会・世田谷トラストまちづくり)、2017年、8-9、25頁。

27

成城憲章

3. 生け垣や樹木などの敷地内の緑の保全

成城のまちの景観の魅力でもある生け垣や樹木のある緑に包まれた庭づくりを進めてください。また、保存樹木をはじめ既存の敷地内の樹木はできるかぎり保全してください。

住宅地ノ外園ニ就テ板塀ヤ煉瓦塀ハ風致ヲ害シマスカラ、コンクリート又ハ大谷石ノ土塀ヲシテ芝貼リノ土提ニ小樹木ヲ植ニナルカ又ハ生垣ニ致シタク、ソノ工事ニ就テハ多数ヲ一轄ニ請負ハスレバ安価ニ上リマスカラ一応地所都御相談下サイ。

成城が誕生した時の、
申し合わせ

出典) 成城自治会『成城憲章』平成14年制定。

出典)『成城みどりのスタイルブック』(成城自治会・世田谷トラストまちづくり)、2017年、25頁。

まちの価値

「成城」というまちの「みどりの深さ」は、植物の自然の秩序が生み出した結果でもなければ、計画に基づく人工の秩序が造りだした結果でもありません。その中間に位置しながら、人びとの居住の営みの相乗的な効果(まちの価値)としてはじめて実現するものだと考えられます。

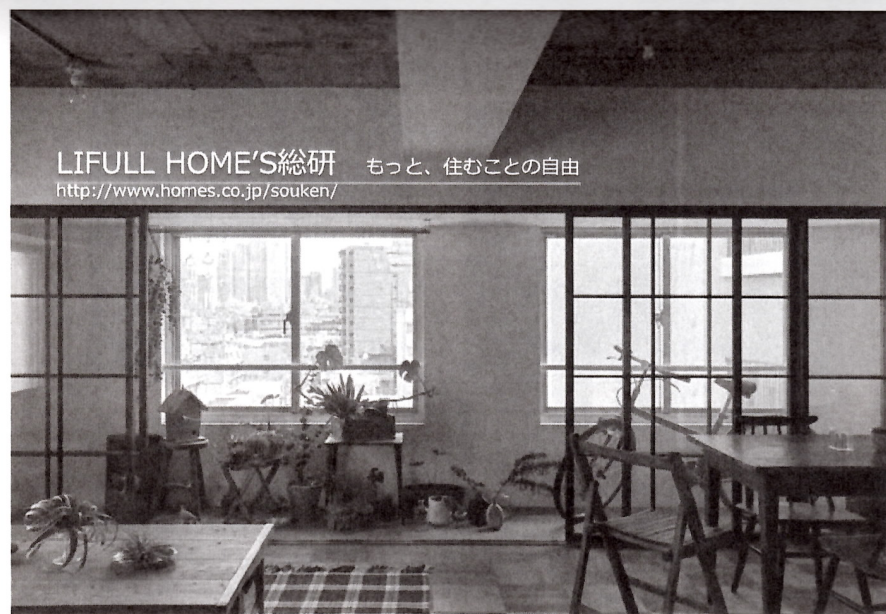
「あこがれ」の住まいと暮らし

「阿佐ヶ谷住宅」や「成城」を通して見えてくるのは、「あこがれ」の住まいと暮らしを考えるうえでは、地価のような市場取引における価値よりも、むしろ人びとの居住の営みが生み出す価値（住まいの価値）や、その相乗的な効果（まちの価値）の方が、より重要なのではないか、という〈問い〉ではないでしょうか。

LIFULL HOME'S総研とは



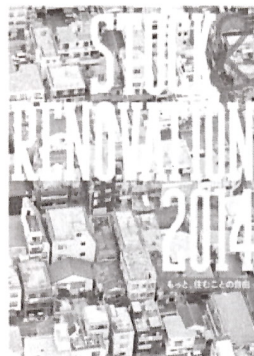
Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved



Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

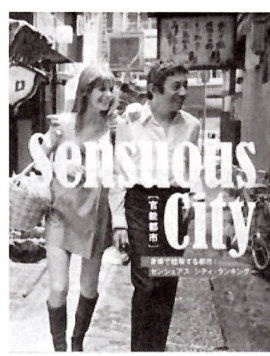
LIFULL HOME'S総研のレポート

2014年



STOCK & RENOVATION 2014

2015年



Sensuous City [官能都市]

2017年



寛容社会

Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

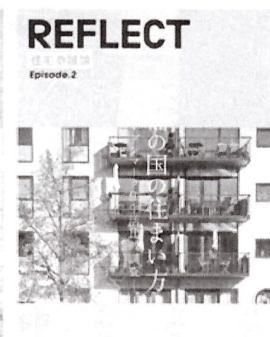
住宅幸福論シリーズ

2018年



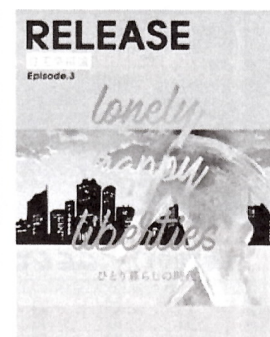
Episode1 住まいの幸福を疑え

2019年



Episode2 幸福の国の住まい方

2020年



Episode3 ひとり暮らしの時代

Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

住まいを取り巻く環境変化

昭和の住まいの幸福

- いつかは「郊外庭付き一戸建て」を持つことは、国民の夢
- 家付き・カー付き・婆抜き

住宅双六 (1974年)



いつかはクラウン (1983年)



昭和の幸せを支えた社会構造

- 時代の社会構造に支えられた住まいの幸福
- 大都市では、「いつかは新築タワーマンション」に変化?

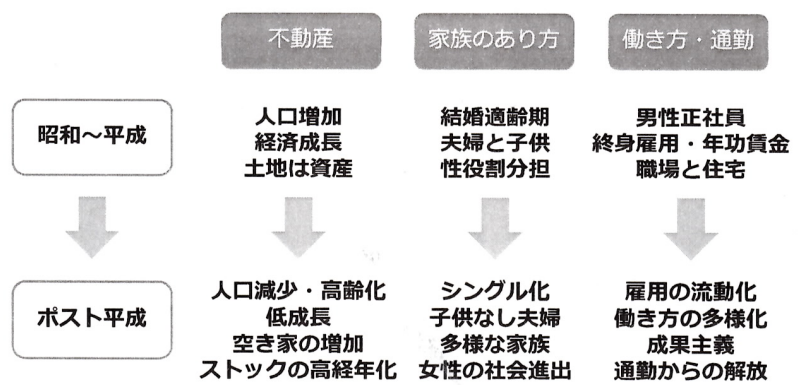
住宅双六 (1974年)



住宅双六の社会構造

- 地価上昇 (土地は資産)
- 一家族一住宅
- 性役割分担されたファミリー世帯
- 正社員・終身雇用・年功賃金
- 郊外と都心 (住む場所と働く場所)

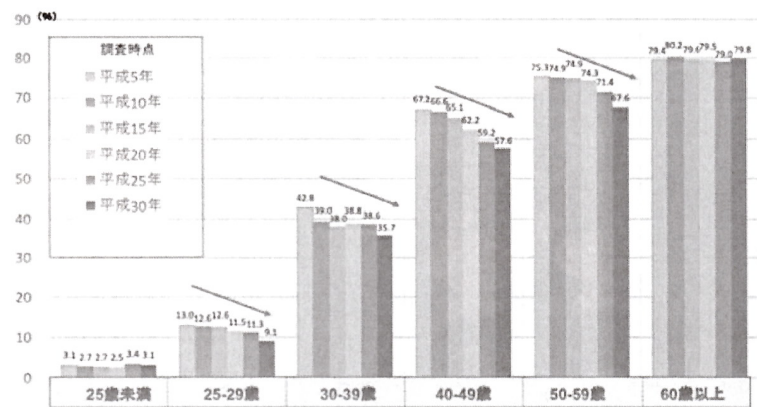
ポスト平成 (令和) の社会構造



住まいの幸福を規定してきた社会構造が解体

平成を通して、持ち家率は低下傾向

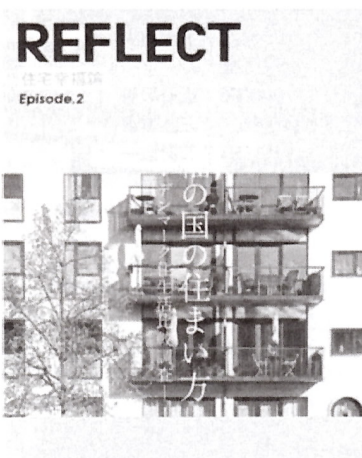
- 50代以下のすべての年代で低下傾向



2010年代に急速に多様化した住まい方



幸福の国から学ぶ、日本人が幸福になる住まい方とは?



住宅幸福論 Episode2
幸福の国の住まい方
—日本・デンマーク住生活比較調査—

2019年3月末発行
初めての日本・デンマーク比較調査
全235pフルカラー
冊子は無料配布 (部数に限りあり)
全頁無料ダウンロード可能

デンマークの住宅事情

- 持ち家率は49%、半賃貸半所有のアンディール (コーポラティブ) が8%
- 公営住宅はほとんどなく、自治体が融資するアルミン (非営利住宅) がカバー

| 2018年 | 持ち家 | アンディール (コーポラティブ) | 賃貸小社 | アルミン (非営利住宅) | 民間賃貸 | 公営住宅 | その他 | 不明 | 割合計 |
|---------------|-----------|------------------|-----------|--------------|---------|--------|--------|-------|-----------|
| デンマーク全国 | 1,036,915 | 8,608 | 119,195 | 9,832 | 104,227 | 1,772 | 3,364 | 1,337 | 1,166,058 |
| 一戸建て | 123,579 | 46,099 | 220,323 | 145,480 | 51,862 | 17,406 | 5,495 | 945 | 400,946 |
| 洋館式戸建て | 127,125 | 147,704 | 797,114 | 395,066 | 321,124 | 26,670 | 54,254 | 4,813 | 1,076,756 |
| 集合住宅 | 22,259 | 111 | 11,991 | 1,092 | 6,271 | 3,329 | 1,299 | 994 | 35,355 |
| その他 | 1,319,878 | 202,522 | 1,148,623 | 551,470 | 483,484 | 49,257 | 6,412 | 8,089 | 2,879,112 |
| グリーナー・コペンハーゲン | | | | | | | | | |
| 一戸建て | 213,649 | 682 | 13,204 | 1,191 | 10,781 | 583 | 649 | 360 | 227,895 |
| 洋館式戸建て | 61,789 | 9,146 | 53,477 | 41,880 | 7,161 | 2,732 | 1,704 | 291 | 124,703 |
| 集合住宅 | 86,847 | 131,122 | 345,098 | 182,174 | 115,823 | 10,622 | 36,478 | 2,375 | 565,842 |
| その他 | 7,059 | 103 | 2,945 | 288 | 1,708 | 663 | 286 | 380 | 10,496 |
| 年・合計 | 369,344 | 141,053 | 414,724 | 225,533 | 135,473 | 14,600 | 39,118 | 3,415 | 928,536 |

| 2019年 | 持ち家 | アンディール (コーポラティブ) | 賃貸小社 | アルミン (非営利住宅) | 民間賃貸 | 公営住宅 | その他 | 不明 | 割合計 |
|---------------|------|------------------|------|--------------|------|------|-----|-----|-------|
| デンマーク全国 | 38.7 | 0.3 | 4.4 | 0.4 | 3.9 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 43.5 |
| 一戸建て | 5.0 | 1.7 | 8.2 | 5.4 | 1.9 | 0.7 | 0.2 | 0.0 | 15.0 |
| 洋館式戸建て | 4.7 | 5.5 | 29.8 | 14.7 | 12.0 | 1.0 | 2.0 | 0.2 | 40.2 |
| 集合住宅 | 0.8 | 0.6 | 0.4 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 1.3 |
| 年・合計 | 49.3 | 7.6 | 42.9 | 20.6 | 18.0 | 1.8 | 2.4 | 0.3 | 100.0 |
| グリーナー・コペンハーゲン | | | | | | | | | |
| 一戸建て | 23.0 | 0.1 | 1.4 | 0.1 | 1.2 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 24.5 |
| 洋館式戸建て | 6.7 | 1.0 | 5.8 | 4.5 | 0.8 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 13.4 |
| 集合住宅 | 9.4 | 14.1 | 37.2 | 19.6 | 12.5 | 1.1 | 3.9 | 0.3 | 60.9 |
| その他 | 0.8 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 1.1 |
| 年・合計 | 39.8 | 15.2 | 44.7 | 24.3 | 14.6 | 1.6 | 4.3 | 0.4 | 100.0 |

コペンハーゲンの住宅事情

- 住宅価格（2017年）・・・1DK=16.7円で換算
 - デンマーク全体 一戸建て約3689万円、アパート3965万円
 - コペンハーゲン市 一戸建て7891万円、アパート5314万円
- グレーターコペンハーゲンの平均賃料（今回のアンケート調査結果からの参考値）
 - 一戸建て15.9万円、アパート12.9万円

- 住宅面積（2018年）
 - デンマーク全体
 - 一戸建て 151.6㎡
 - 連棟戸建て 98.0㎡
 - 集合住宅 93.0㎡
 - コペンハーゲン市
 - 一戸建て 135.4㎡
 - 連棟戸建て 115.9㎡
 - 集合住宅 80.1㎡

■住宅タイプ別の住宅の規模 出所：デンマーク統計局

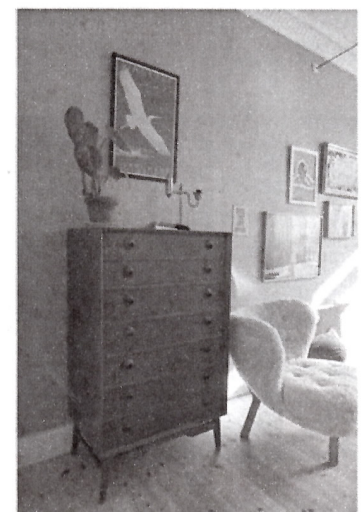
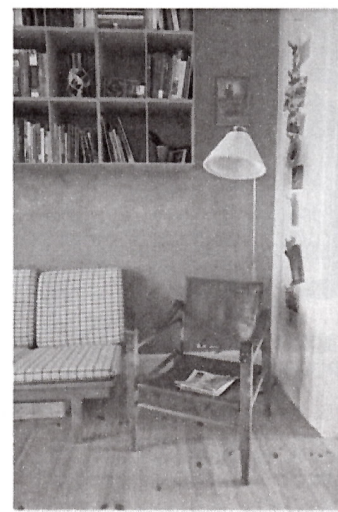
| 2018年 | 平均住宅面積 (㎡) | 1人あたり面積 (㎡) | 1戸あたり人数 (人) |
|----------|------------|-------------|-------------|
| デンマーク全体 | 112.2 | 52.3 | 2.1 |
| 一戸建て | 151.6 | 58.5 | 2.6 |
| 連棟式戸建て | 93.0 | 49.0 | 1.9 |
| 集合住宅 | 78.3 | 44.1 | 1.8 |
| 学生寮 | 35.5 | 27.1 | 1.3 |
| その他 | 123.3 | 49.0 | 2.6 |
| コペンハーゲン市 | 84.0 | 41.3 | 2.0 |
| 一戸建て | 135.4 | 45.7 | 3.0 |
| 連棟式戸建て | 115.9 | 41.3 | 2.8 |
| 集合住宅 | 80.1 | 41.2 | 1.9 |
| 学生寮 | 31.9 | 24.4 | 1.3 |
| その他 | 88.8 | 22.0 | 3.4 |

Hygge (ヒュッゲ) な暮らし

- 「居心地のよさ」を意味するデンマーク独特の概念で、ヒュッゲな暮らし方に世界的な注目が高まっている



住まいは「自分のアイデンティ」と即答する人々

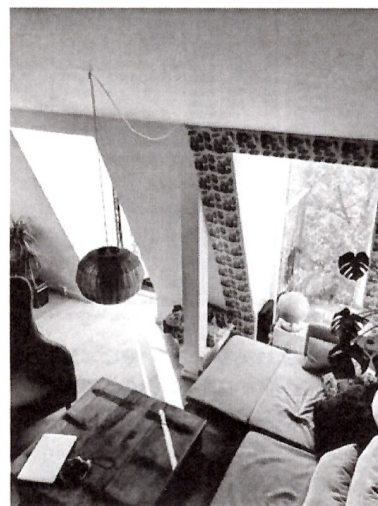


コペンハーゲンお宅訪問取材
あなたにとって、家とはなんですか？

住まいの設えは「自己紹介」



住まいを「育てている」という感覚



20代独身男性の賃貸住まい比較



日本・デンマーク住生活比較調査

調査概要

- 調査方法：インターネット調査
 - デンマーク人がトルーナ・ジャパン株式会社、日本人が株式会社マーケティングアプリケーションズ、それぞれのインターネット・リサーチパネルを利用。
- 調査対象
 - 以下の条件に該当する、20~69歳までの男女。
 - 本人または本人の配偶者が世帯主。学生ではない。
 - デンマーク人はグレーター・コペンハーゲン、日本人は都三県（島嶼部を除く）に居住。
- サンプル数
 - デンマーク人は1000サンプル、日本人は2000サンプルを回収した。
- 調査対象時期
 - デンマーク人：2018年12月17日（月）～2019年1月7日（月）
 - 日本人：2018年12月11日（火）～12月20日（木）
- 調査実施機関：株式会社アンド・ディ

- 性年代別回収サンプル数の設定
 - 性別「男性」「女性」の2区分、年代「20歳代」から「60歳代」の5区分を組合せた10区分による均等回収を設定し、デンマーク人は原則100サンプルずつの1000サンプル、日本人は200サンプルずつの2000サンプルを回収した。
 - ただし、デンマーク人は一部の割付区分で回収サンプルが設定数に不足したため、同性の前後世代または同年代の異性で補填した。

■回収サンプル数(全体/単一回答) (人)

| | 調査数 | 地域別 | | | |
|----------|------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| | | Byen København (Copenhagen City) | København sømeegn (Copenhagen surroundings) | Nordsjælland (North Zealand) | Ostsjælland (East Zealand) |
| デンマーク人全体 | 1000 | 411 | 350 | 155 | 84 |
| | | 41.1% | 35.0% | 15.5% | 8.4% |
| 性別 | | | | | |
| 男性・計 | 467 | 204 | 162 | 71 | 31 |
| 女性・計 | 533 | 207 | 188 | 84 | 53 |
| 年代別 | | | | | |
| 20歳代 | 202 | 92 | 76 | 30 | 4 |
| 30歳代 | 200 | 113 | 54 | 25 | 8 |
| 40歳代 | 198 | 73 | 71 | 38 | 16 |
| 50歳代 | 195 | 59 | 76 | 28 | 32 |
| 60歳代 | 205 | 74 | 72 | 35 | 24 |

今回の調査分析では、デンマーク人の集計について、原則、実際の持ち家・借家比率に調整している。なお、ウェイトバック係数は、デンマーク統計局の2018年の戸数データにも基づき算出した。

■回収サンプル数(全体/単一回答) (人)

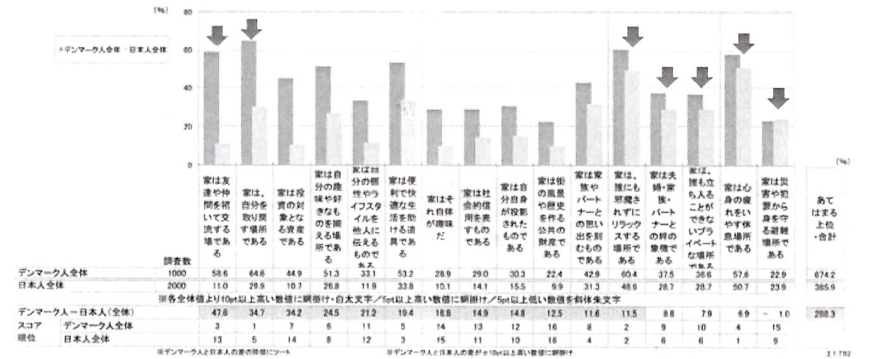
| | 調査数 | 地域別 | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| | | 東京都 | 埼玉県 | 千葉県 | 神奈川県 |
| 日本人全体 | 2000 | 822 | 361 | 291 | 526 |
| | | 41.1% | 18.1% | 14.8% | 26.3% |
| 性別 | | | | | |
| 男性・計 | 1000 | 415 | 179 | 155 | 251 |
| 女性・計 | 1000 | 407 | 182 | 136 | 275 |
| 年代別 | | | | | |
| 20歳代 | 400 | 174 | 68 | 62 | 98 |
| 30歳代 | 400 | 161 | 80 | 56 | 103 |
| 40歳代 | 400 | 163 | 71 | 55 | 111 |
| 50歳代 | 400 | 170 | 69 | 60 | 101 |
| 60歳代 | 400 | 154 | 73 | 58 | 115 |

あなたにとって家とは？

- 日本人よりも家に多様な意味を求めるデンマーク人
- 家はプライベートな休息場所と考える日本人
- 最大の違いは、人を招いて交流し、本来の自分を回復する場所としての家

■自分にとって住居とは、TOP2(全体/各単一回答) ※TOP2「帰ってよくあてはまる」「よくあてはまる」

家とは、あなたにとってどのようなものですか。以下の考えがどの程度あなたに当てはまるかを教えてください。



住宅観の比較

住まいの理想の有無

- 理想の住まいのイメージを強く持つデンマーク人
- 明確なイメージを持つ人は、日本人26%、デンマーク人53%
- 日本の単身中高年男性の半数以上は、ぼんやりとしたイメージもない (81p)

■理想の住居・住まいイメージの強さ(全体/単一回答)
あなたは、「理想の住まい」のイメージを、どの程度お持ちですか。

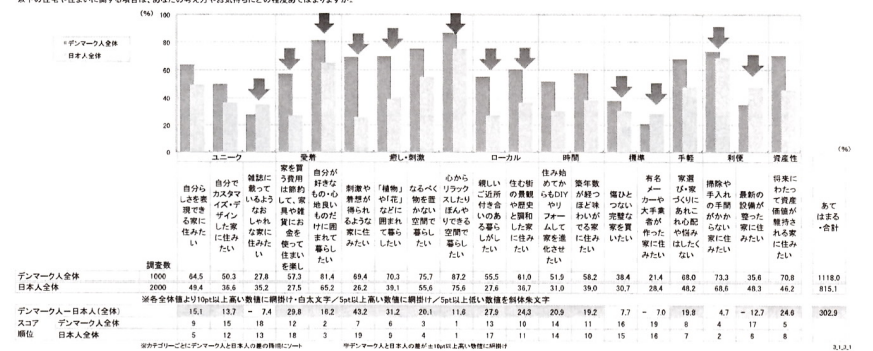


理想の住まい像

- 「好きなモノに囲まれた空間でリラックスする」は両国に共通
- 日本人は最新の設備や大手企業の完璧さを求める傾向が強い
- デンマーク人とは、インテリア、創造性、ローカルなコミュニケーションで大差

■理想の住居・住まいPB(全体/各単一回答) ※PB「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」

以下の住居や住まいに関する項目は、あなたの考えや気持ちにどの程度あてはまりますか。

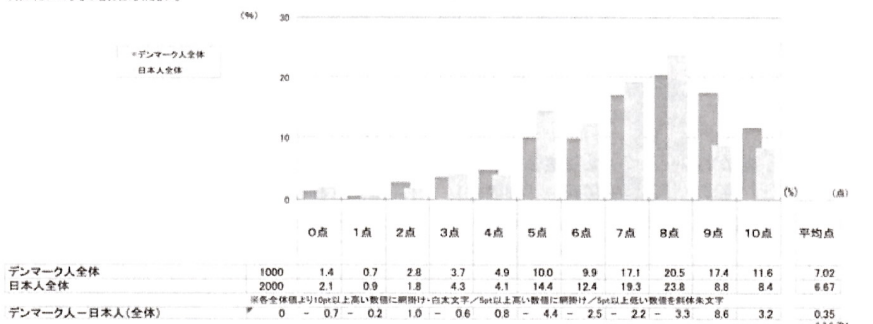


住んでいる家の満足度

- デンマーク人7.02点、日本人6.67点
- デンマーク人は9点、10点の高い満足度が日本人を大きく上回る

■「家」の満足度(全体/単一回答)

あなたは、「いま住んでいる家」について、どの程度満足していますか。「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点とした場合、何点くらいになるかを教えてください。



住宅タイプ別の家満足度

- 戸建ての満足度が高いデンマーク人、マンションの満足度が高い日本人
- 両国とも持ち家>賃貸だが、日本のほうが差が大きい (0.79/1.02)

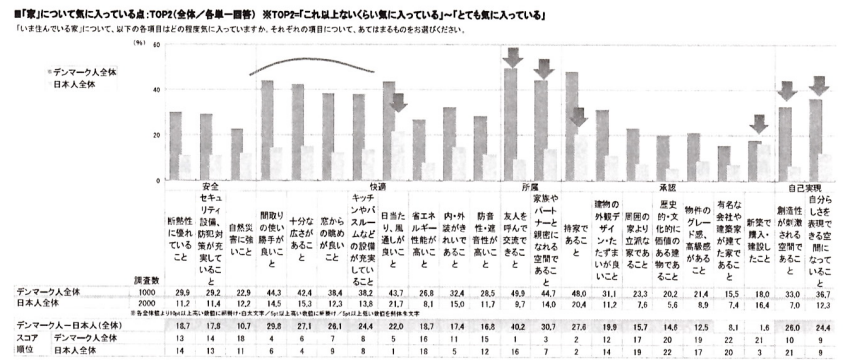
| | デンマーク人 | 日本人 |
|----------|--------|-------|
| 持ち家全体 | 7.50 | 7.14 |
| 持ち家・一戸建て | 7.90 | 7.17 |
| 持ち家・集合住宅 | 7.32 | 7.33 |
| アンディール | 6.76 | ----- |
| 賃貸・全体 | 6.71 | 6.08 |
| 賃貸・一戸建て | 7.03 | 5.86 |
| 賃貸・マンション | 6.57 | 6.15 |
| 賃貸・アパート | ----- | 6.00 |

Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

28

家で気に入っている点

- 全体的にデンマーク人は多岐に及び、日本人は回答が少ない
- 日本人の上位3つは、「日当たり・風通し」「持ち家である」「新築で取得」
- デンマーク人は、「友人を呼んで交流」、「創造的」「自分らしさ」で大差
- 快適さを備え、所属や自己実現など高次の欲求までも満たすデンマーク人の家

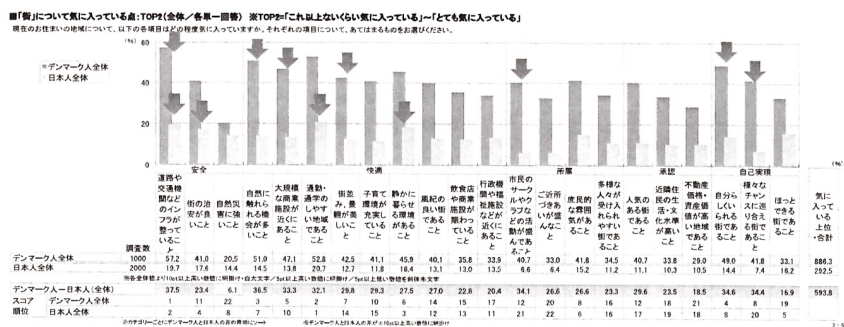


Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

29

住んでいる街で気に入っている点

- 全体的にデンマーク人は多岐に及び、日本人は回答が少ない
- 日本人の上位は、「通勤・通学」「交通機関」「静かな環境」「治安のよさ」
- デンマーク人とは「自然」「商業施設」「景観」、「自分らしさ」や「チャンス」などで大差
- 安全性・快適性に留まる日本人、所属、承認、自己実現など高次の欲求のデンマーク人

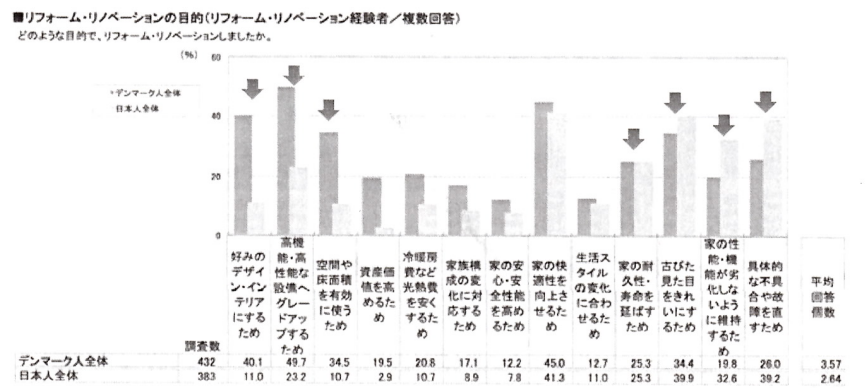


Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

30

リフォーム・リノベーションの目的

- 快適性の向上は共通だが、グレードアップが目的のデンマーク人、不具合・劣化対策が目的の日本人
- デンマークの持ち家層では、資産価値やエネルギー性能の向上も目的に



Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

31

暮らし方の比較

Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

32

住まいの改善意欲

- 住まいの改善に意欲的なデンマーク人
- 強く心がけている割合はデンマーク人の41%に対し、日本人は23%
- デンマークの2人以上世帯では特に改善意欲が強い (85p)

■住まいの改善意欲(全体/単一回答)

あなたは普段、自分の住まいをより良くすることに、どの程度気を配っていますか。



Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

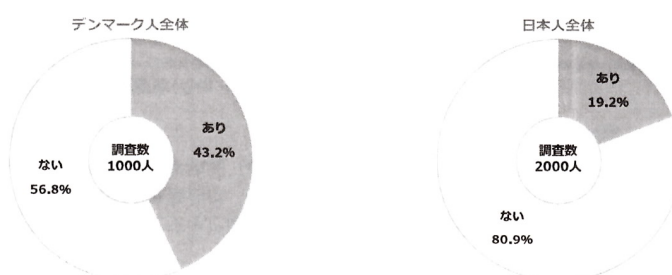
33

リフォーム・リノベーション経験

- デンマーク人の43%に対し日本人は19%と、経験率に2倍の開き
- 経験者の平均経験回数は、デンマーク人3.75回、日本人1.98回
- デンマークでは賃貸居住者でも30%の経験率、日本の賃貸では1% (121p)

■リフォーム・リノベーション経験(全体/単一回答)

現在のお住まいに住み始めてから、リフォーム・リノベーションしたことはありますか。



Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

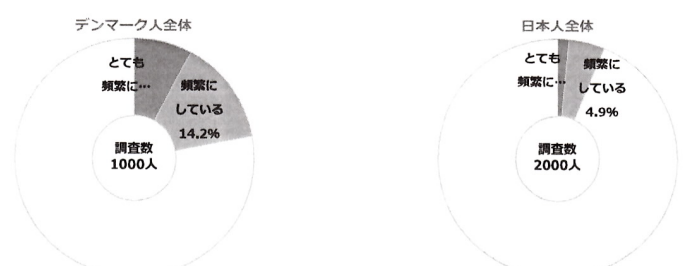
34

インテリアの変更頻度

- デンマーク人の22%は頻りにインテリアの模様替え、日本人では6%
- デンマークの持ち家一戸建ての人では14%が「とても頻りにしている」
- 日本では半数は「ほとんどしない」 (125P)

■インテリア変更頻度(全体/単一回答)

現在のお住まいに住み始めてから、家具やインテリアの配置を替えたり、インテリアを大きく変えたりしたことはありますか。



Copyright(c) LIFULL Co., Ltd. All Rights Reserved

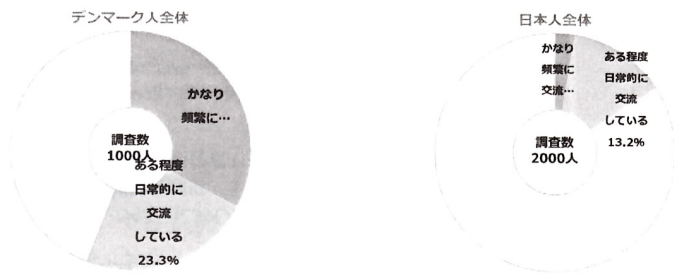
35

地域コミュニティとの交流頻度

- > 居住地域のコミュニティとの交流に大きな差
- > 日常的な交流がある割合は、デンマーク人56%に対して日本人は16%
- > 日本人の単身世帯の半数弱（47%）は「まったく交流はない」と回答（109p）

■「街」における交流頻度(全体/単一回答)

あなたは日頃の生活において、近隣住民や地域の人との程度の交流がありますか。※仕事上の交流も含めてお答えください。

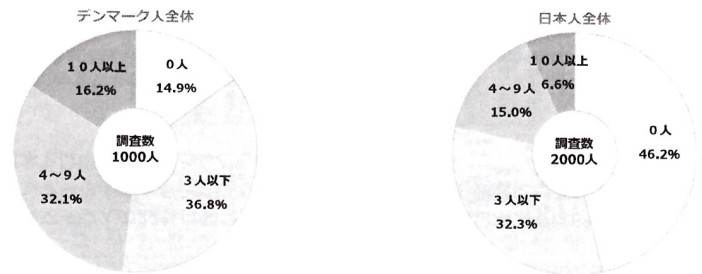


住んでいる街での友人数

- > 46%の日本人は住んでいる地域に親しい友人がいない
- > 友人の平均数（0を除く）は、デンマーク人6.7人、日本人4.5人
- > 日本人の子供がいない世帯（単身と夫婦のみ）の半数は友人数ゼロ（107p）

■「街」における友人数(全体/複数回答)

今住んでいる地域に、よく会って話をする親しい友人は何人いますか。

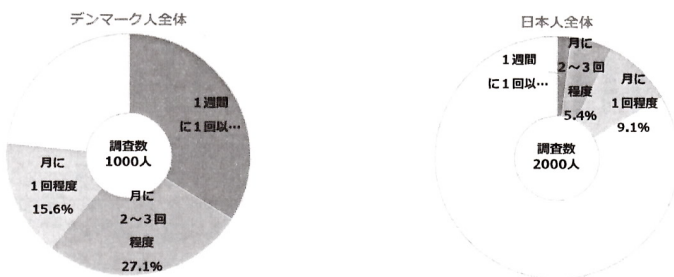


自宅に人を招く頻度

- > 日常的に人を招くデンマーク人、ほとんど招くことがない日本人
- > デンマーク人の77%は「月に1回以上」、日本人では16%
- > 日本人の半数は「年に1回もない」と回答（119p）

■「家」での交流頻度(全体/単一回答)

日頃、ご自宅に友人を招く機会ほどの程度ありますか。



調査結果のまとめ デンマークとの対比で分かった日本人の住まい方

住宅観の対比

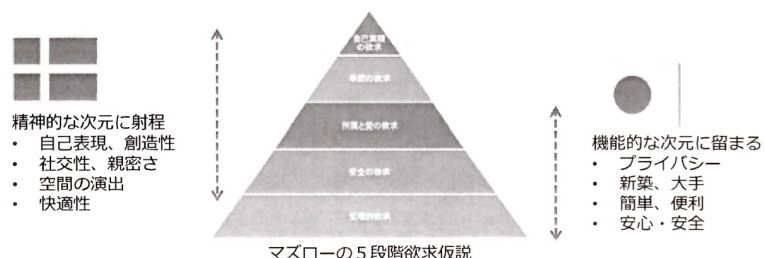
| | ■ デンマーク人 | ● 日本人 |
|-------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 家とは | 社交する場所 本来の自分になる場所 | プライベートな空間 休息、リラックスする場所 |
| 理想の家 | 理想イメージが明確 好きなものに囲まれて リラックス インテリアを重視 交流の重視 | 理想イメージが希薄 好きなものに囲まれて リラックス 設備重視、簡便性重視 有名メーカー、雑誌で見るような |
| 持ち家志向 | 強い 賃貸でも自分らしさは可能 | 強い 賃貸では自分らしさは不可能 |
| 新築志向 | 志向はあるが、実際は中古 | より強くあり、実際も新築 |

住まい方の対比

| | ■ デンマーク人 | ● 日本人 |
|---------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 地域での生活 | 地域社会との交流が多い 地域に友人が多い 住んでいる街での活動が多い | 地域社会との交流はない 地域に友人はいない 住んでいる街での活動が少ない |
| 居住地域の評価 | 交通インフラ、利便性 地域コミュニティ 自分らしく暮らせる チャンスに出会える | 交通インフラ、通勤利便性 治安のよさ、静かな環境 |
| 住まいの改善 | 改善意欲がとても強い リフォーム経験率高い 模様替えの頻度高い 具体的行動が多い | 改善意欲が弱い リフォーム経験率低い 模様替えの頻度低い 具体的行動が少ない |
| 自宅の評価 | 居住性・快適性 友人や家族との交流 持ち家 創造性、自己実現 | 日当たり・風通し 持ち家 新築 |

デンマーク人との対比でわかった日本の住まい方

- > デンマーク人
 - ・家は交流の場と考え、インテリアによって自分を表現し、人を招いて交流することで住生活の幸福感を得ている
 - ・ヒュッグ（居心地の良さ）を重視し、住空間の改善に熱心
- > 日本人
 - ・家はプライベート空間と考えるが、実質的には「寝に帰る」場所、低次の欲求レベルに留まっている
 - ・利便性や治安を重視した新築の家を好むが、居心地の良さを自ら改善していこうとする意欲は低い



デンマークに学ぶ幸福な住生活へのヒント



デンマークに学ぶ幸福な住生活へのヒント



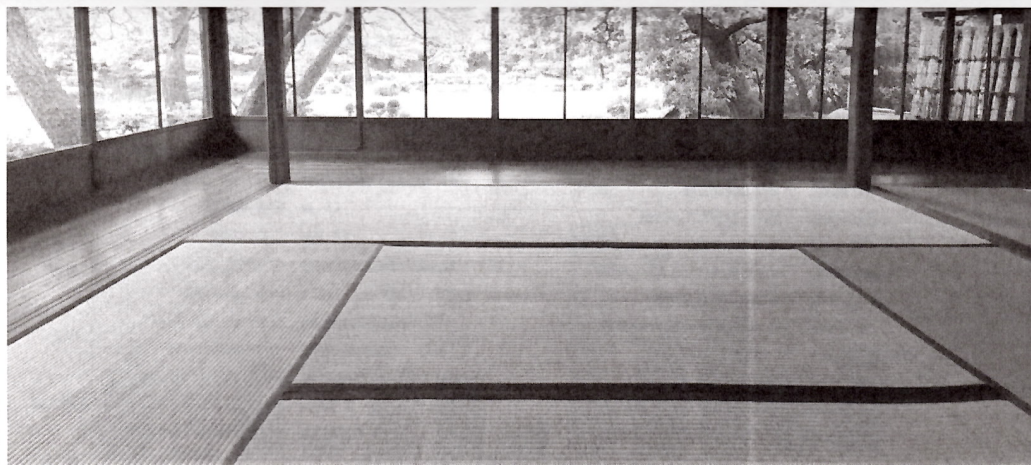
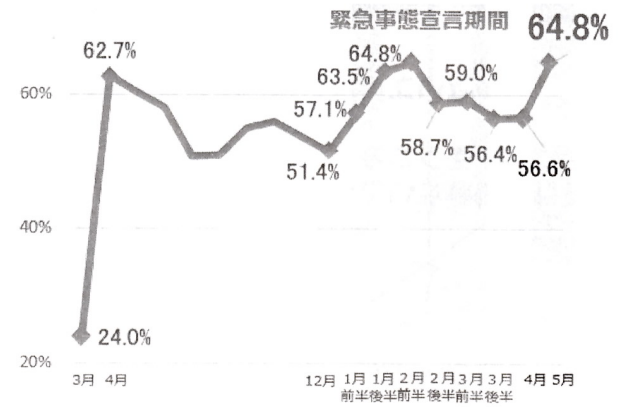
住まいを自らより良くしようという意欲と行動が、「幸福な住まい」をつくる。

日本人の住まい方に欠けていたのは、住むことへの主体性だった。

コロナ禍を経験は重意識を変えるか？

住空間の快適さへの気づき、ローカルコミュニティへの気づきが生まれるか？

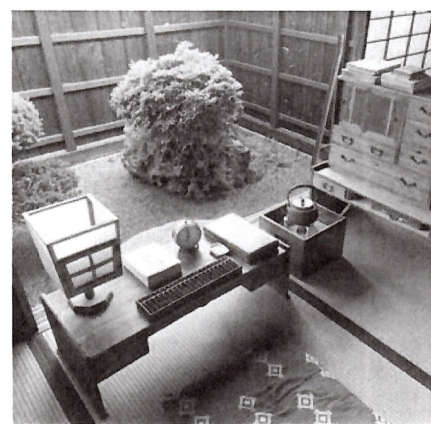
■東京都のテレワーク実施率



外国人から見た”和”の住まい

住総研シンポジウム 2021年7月30日 鈴木あるの (京都橘大学)

何が「和」とされてきたのか？



あるアメリカ人の住まい (モーア邸、滋賀県日野町にて)

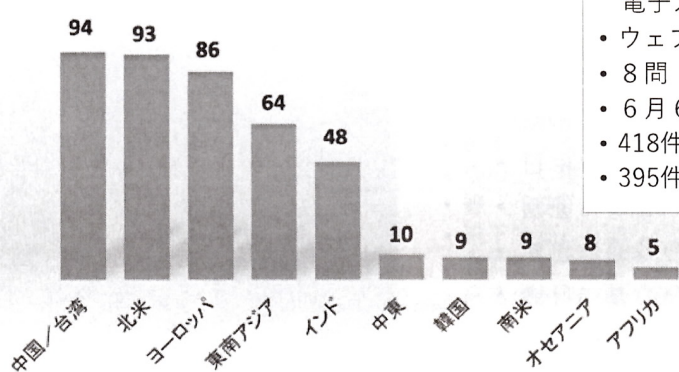
経緯：

- 16世紀 宣教師の観察
- 19世紀 来日した科学者の観察
ジャポニズムの意図的輸出
- 20世紀 モダニズム建築家の評価
- 21世紀 文化遺産的評価
環境配慮における評価
インバウンド観光需要

問い：

本質的なことは理解されているのか？
真正性は求められているのか？

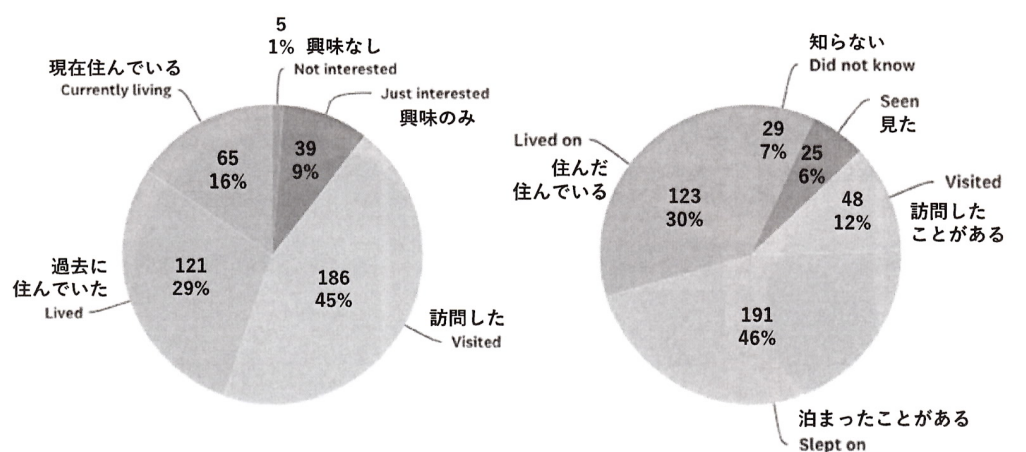
外国人の畳への認識



アンケート調査

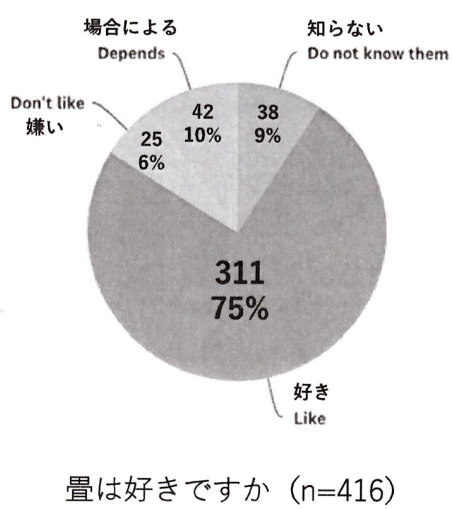
- 日本に関係のある外国人に電子メール等でURLを配布
- ウェブ上で入力回答
- 8問 (平均回答時間 2m30s)
- 6月6日～8月12日
- 418件回収うち有効回答416件
- 395件英語23件日本語で回答

回答者の出身地 n=426 (重複回答含む)



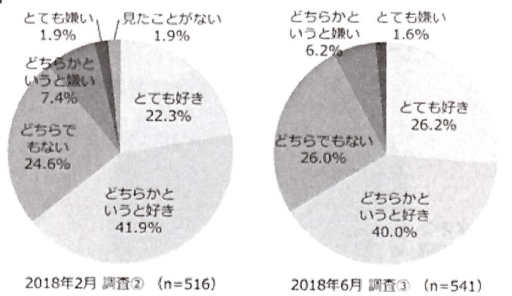
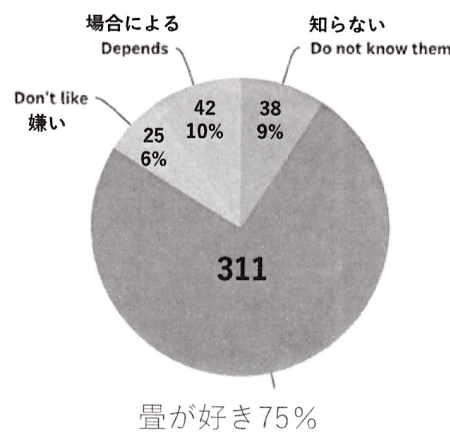
日本への興味と経験 (n=416)

畳の部屋の経験 (n=416)



「場合による」の内容

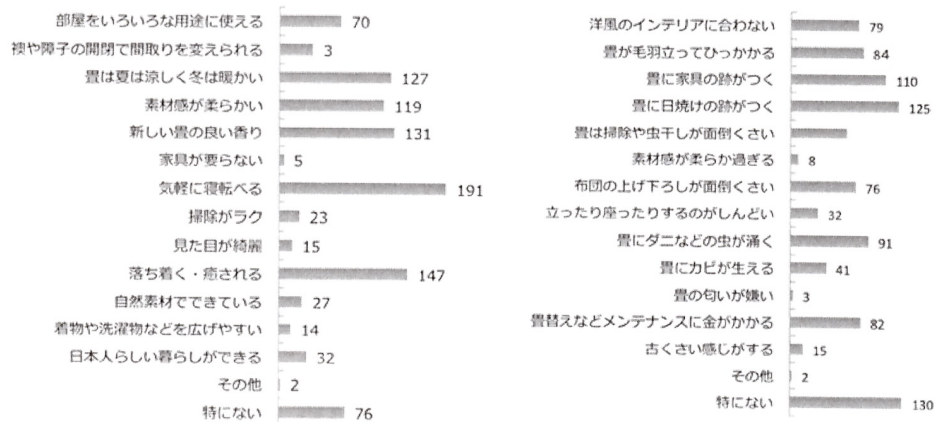
- 新しい畳ならOK
- 清潔な畳ならOK
- 風通しの良い部屋ならOK
- 日当たりの良い部屋ならOK
- 掃除や維持管理はご免だ
- 見るのは好きだが寝るのはご免だ
- 訪問は好きだが居住はご免だ
- 歳をとってから膝が辛くなった
- アレルギーさえなければOK
- 子供がいなければOK
- ペットがいなければOK



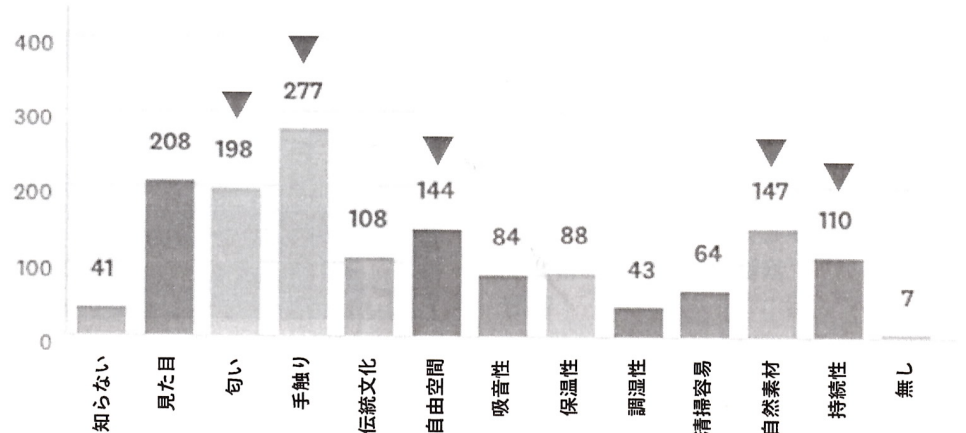
2018年 日本人対象の調査

(左) 外国人 (右) 日本人回答者

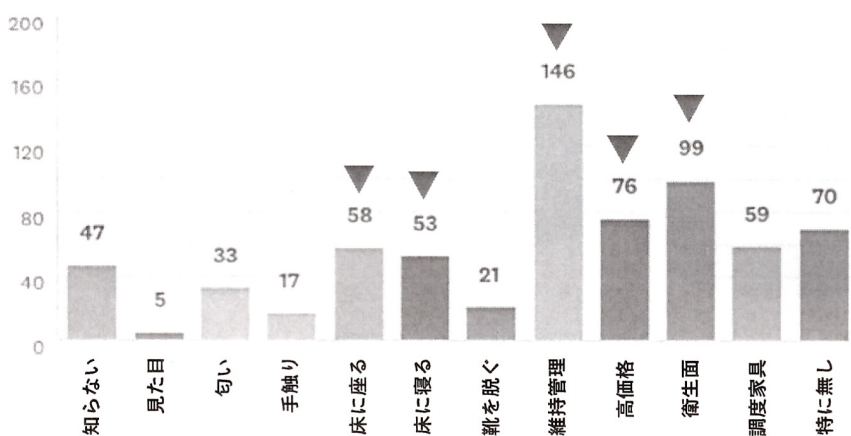
畳を好きな理由 (左)、嫌いな理由 (右) (日本人の意見)



畳を好きな理由 (外国人) (複数回答)

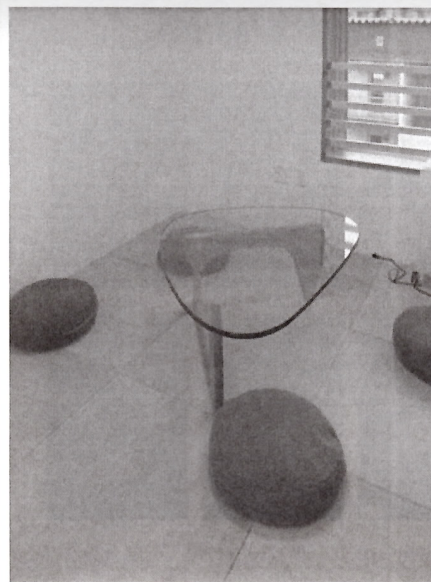


畳を嫌いな理由 (外国人) (複数回答)



畳についての質問 (自由記述)

- 日本国外でも買えるのか?
- 値段はどれくらいか?
- 掃除機、水拭き、洗剤等を使用可能か?
- 日本と異なる気候でも使用可能か?
- どのような植物でできているのか?
- 何年くらい持つのか?
- 燃えやすくないのか?
- 害虫対策はどうすればよいか?
- どうすれば新畳の匂いを維持できるか?
- 大きさが合わなければ切っても良いか?
- 正方形の畳と長方形の畳の違いは何か?
- 現代の日本の家では畳は使われているか?
- これほど優れた床材をなぜ使わないのか?



← (参考) イグサではない畳、縁なし畳

畳についての意見 (自由記述)

- もっと手頃な値段で売ってほしい
- 色やサイズを選べるようにしてほしい
- 国に帰ったら自分の家にも導入する
- 日本の住宅要素の中で畳だけ流行している
- 日本文化の代表なので消滅させてはいけない
- 家の様式があてれば、とても良いと思う
- 硬すぎず柔らかすぎず、寝てよし座ってよし
- 畳の上に寝るとマッサージ効果を感じる
- 縁(へり)の模様がカワイイので好き
- 靴下で歩くと滑りやすいのが困る
- 家具を使う場合には無理だ
- 座るのが辛いので掘りごたつ式なら良い

← (参考) 島津家仙巖庵の和洋折衷



「自由に使える空間」記述の一例 (原文まま)

日本に来てから、合計6年間畳のある部屋に住んだことがあります。畳との出会いは、京都・出町柳駅前のとある1950年代築の「マンション」からでした。当時和室を選んだ理由は、家賃が安いからでした。二人でルームシェアして、私のルームメイトはベッドが必要と思って、ベッドを買ったんですが、私はベッド買うのもお金かかるし、組み立ても大変だと思って、和室本来の使い方をそのままにして4年間住んでいました。

ベッドがなかったため、部屋の有効面積はルームメイトに比べ圧倒的に広く、使い方も自由度が高く、出町柳という地の利もあって、いつの間にか中国人友達のみならず、組み立ても大変だと思って、和室本来の使い方をそのままにして4年間住んでいました。

そのあと、大阪にある研究室の配属となったため、琵琶湖の畔にあるUR団地に引っ越しましたが、そこはまた、1960年代築の和室でした。家賃面では市営住宅に敵わないが、値段の割に広大な空間でした。そこはまた、いつの間にかたまり場となりました。違いは、研究室の関係で、今度多国籍のみならず、キッチンも広かったため、地元料理に腕を振っていました。

やがて学生生活の終わりを迎え、東京で就職し、社員寮に住むことになりました。今度は6年ぶりの洋室でした。広くはないものの、一人ひとりの空間は独立しています。ただ失ったのは一つあることを気づきました。みんなで使って楽しい公共空間でした。



畳の海外展開を図るために

アンケート結果から導かれた仮説

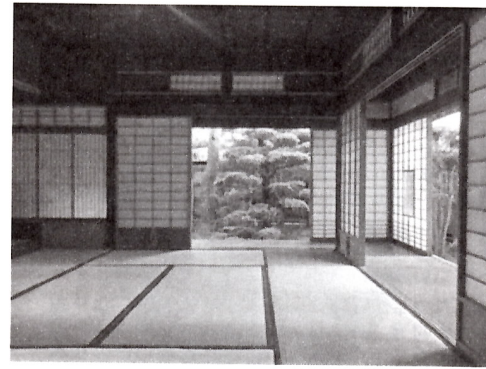
日本人と共通の悩み

- ・ 維持管理へが面倒臭い
- ・ 洋風の家具との調和
- ・ 床座・床就寝が辛い人がいる
- ・ ベットがいると難しい

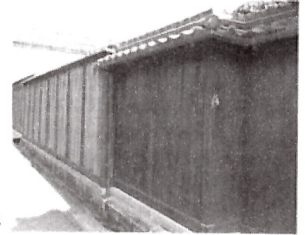
外国人の評価基準

- ・ 機能性など実用面を評価
- ・ 自然材料であることを評価
- ・ 維持管理・清掃方法への不安
- ・ 気候風土の違いへの不安
- ・ モジュールの違いへの不安
- ・ 伝統文化を大切にすべきという意見

参考) モーア邸における和室とアンティーク洋家具の調和



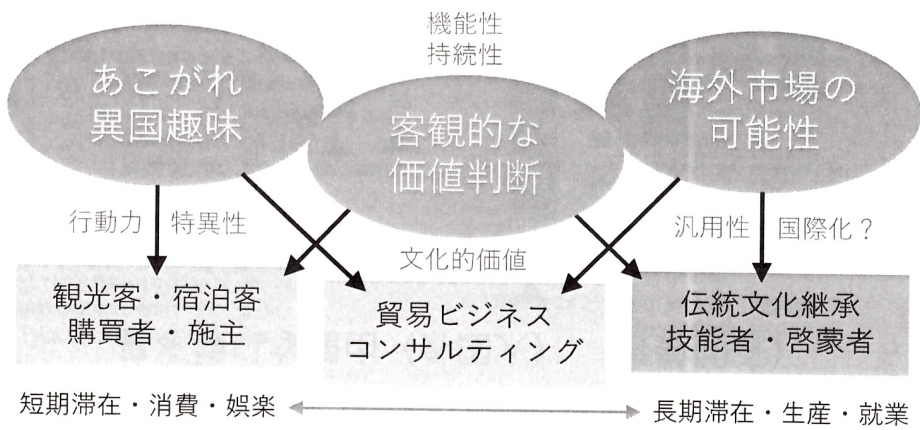
モーア・オースティン氏 (日野まちなみ保存会事務局長)
 1962年 米国生まれ。幼少より歴史的建造物修復に参加
 1980年 E.S.モース博士の影響から大学で日本語を学ぶ
 1984年 大学卒業後、文部省の招待英語教師として来日
 1987年 自治省外郭団体の職員(文化指導)となり、現在に至る



高木以外の庭は
全て自ら手入れ
障子も全て貼る
日本人にも指導
弁柄塗を推進
近隣にDIY指導

「和」の維持保存・啓蒙における外国人の役割 (仮説)

「外国人」= 日本以外の文化から来た人



今後の議論

検討課題

1. 材料が真正であることの必要性
2. 家具や他の様式との調和の可能性
3. 海外顧客の要望と輸出入可能な範囲
4. 他文化の生活様式と和室受容の相関
5. 「和室の要素」に関する認識

住総研「外国人和室委員会」の研究計画

1. 新素材量や新建材の評価実験
2. 日本国内の外国人住居における和室の調査
3. 海外展開する「和室」業者への聞き取り
4. 文献調査、質問紙調査
5. 要素抽出比較実験の再挑戦

外国人和室委員会: 鈴木あるの、亀井靖子、桐浴邦夫、松村秀一



「和室の要素」抽出比較写真